

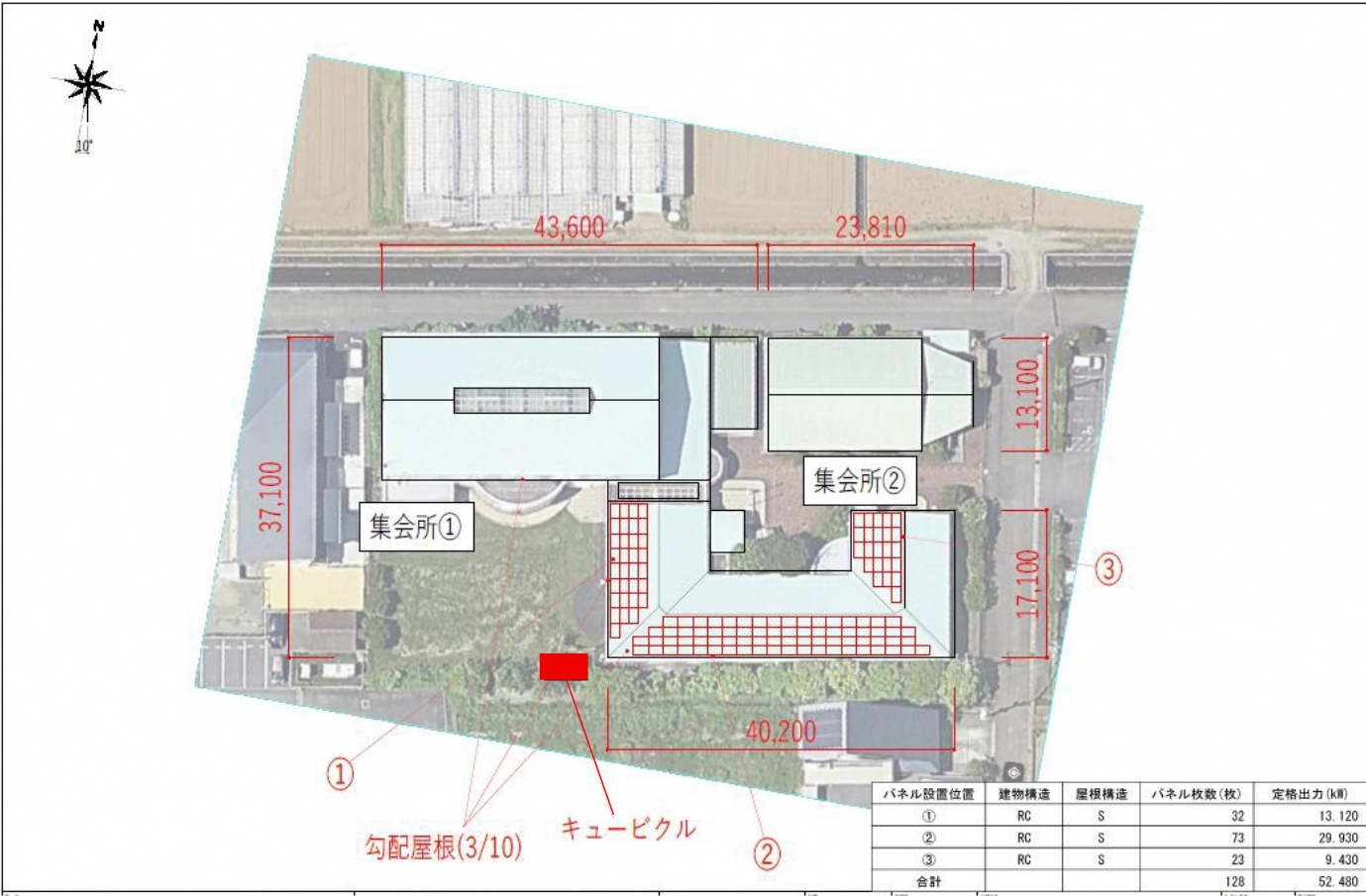
(1) 西部コミュニティセンター

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 52.48kW であり、年間発電量 66,210kWh は本施設の電力消費量の 181%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス(以下最適出力という)を考慮した出力は 9.43kW であり、年間発電量は 13,216kWh、自家消費量は 10,625kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 24 万円（東京電力エナジーパートナーの高圧業務用電力契約単価を使用し以降同様）、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 4,473kg-CO<sub>2</sub>（排出係数 0.421kg-CO<sub>2</sub>/kWh とし以降同様）と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は高いと考えられる（総合評価の 1～5 位を「高い」とし、中程度が 6～11 位，低い が 12～16 位とした。）。
- 集会所①の屋根は横葺鋼板屋根であるため、屋根の構造に適した架台を探す必要がある。
- 集会所②の屋根はスレートであるため設置不可。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
集会場①	52.48	66,210	1997	R C	不要

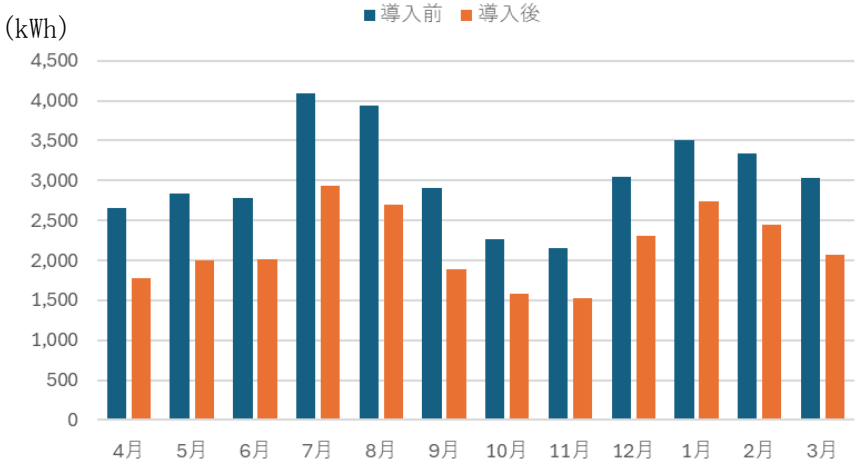
太陽光発電設置箇所



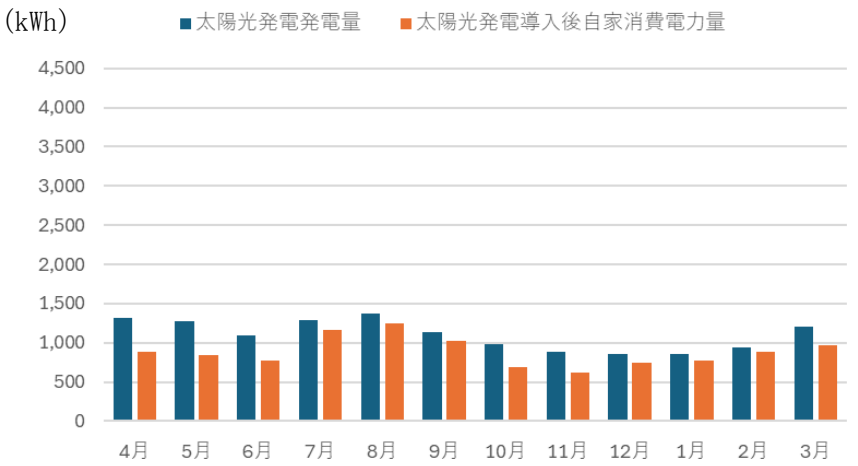
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
36,566kWh	34kW	9.43kW	13,216kWh	10,625kWh	80.4%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
1,496,398 円	1,251,727 円	244,641 円	28,486 円	4,473kg-CO <sub>2</sub>	

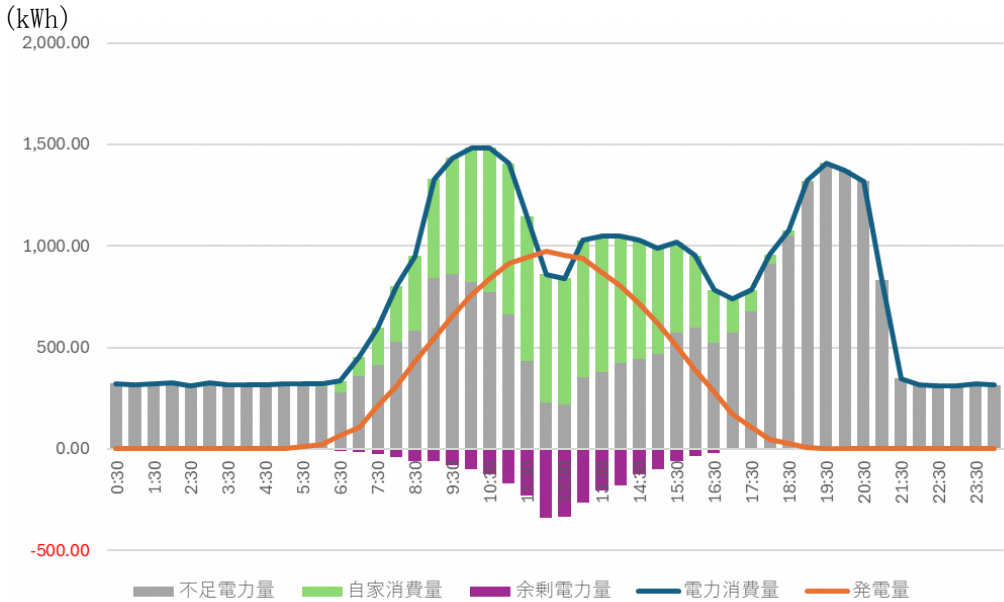
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳 (年間)



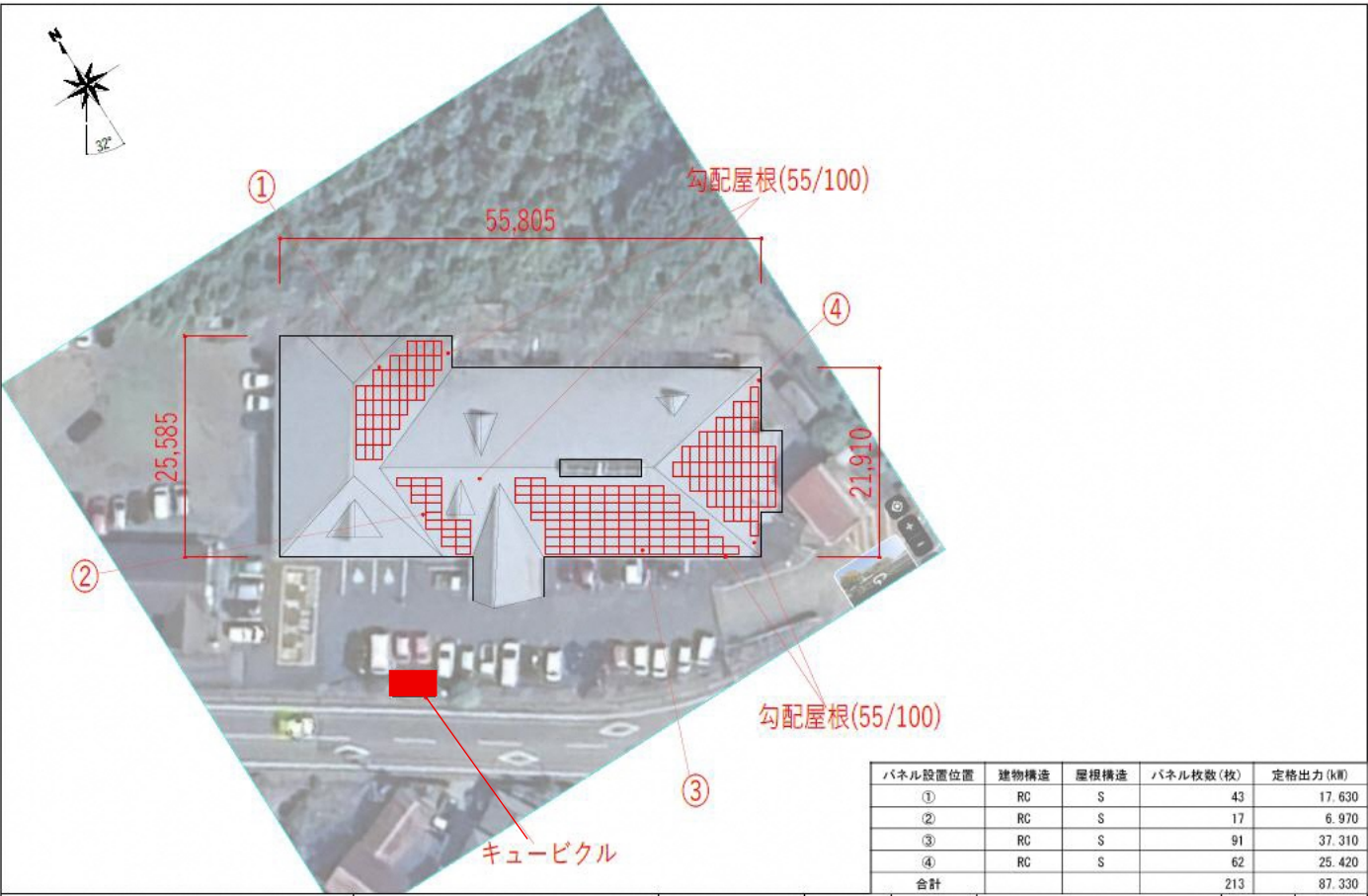
(2) 農村環境改善センター

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 87.33kW であり、年間発電量 110,177kWh は本施設の電力消費量の 556%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス(以下最適出力という)を考慮した出力は 2.46kW であり、年間発電量は 3,471kWh、自家消費量は 2,804kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 6.4 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 1,181kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は低いと考えられる
- 屋根は横葺鋼板屋根であるため、屋根の構造に適した架台を探す必要がある。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
農村環境改善センター	87.33	110,177	1996	R C	不要

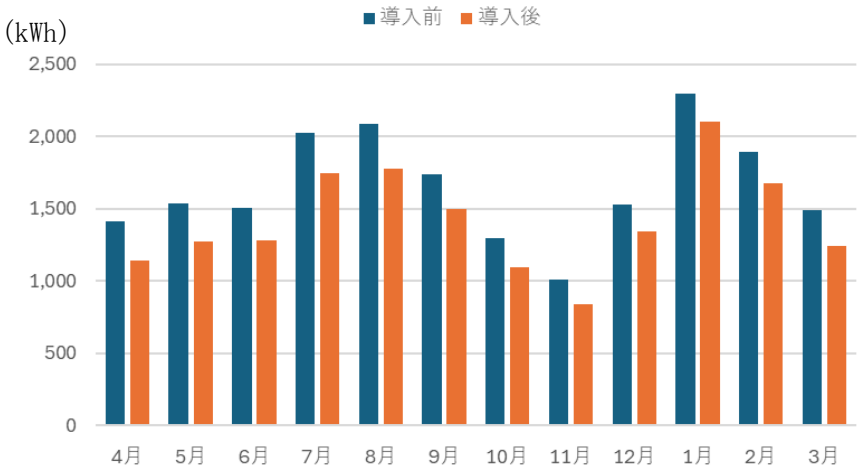
太陽光発電設置箇所



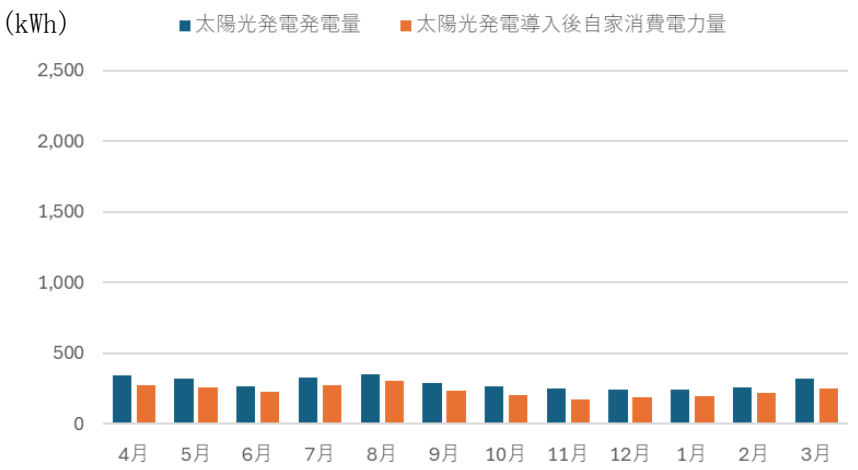
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
19,810kWh	34kW	2.46kW	3,471kWh	2,804kWh	80.8%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
1,110,923 円	1,046,460 円	64,463 円	7,327 円	1,181kg-CO <sub>2</sub>	

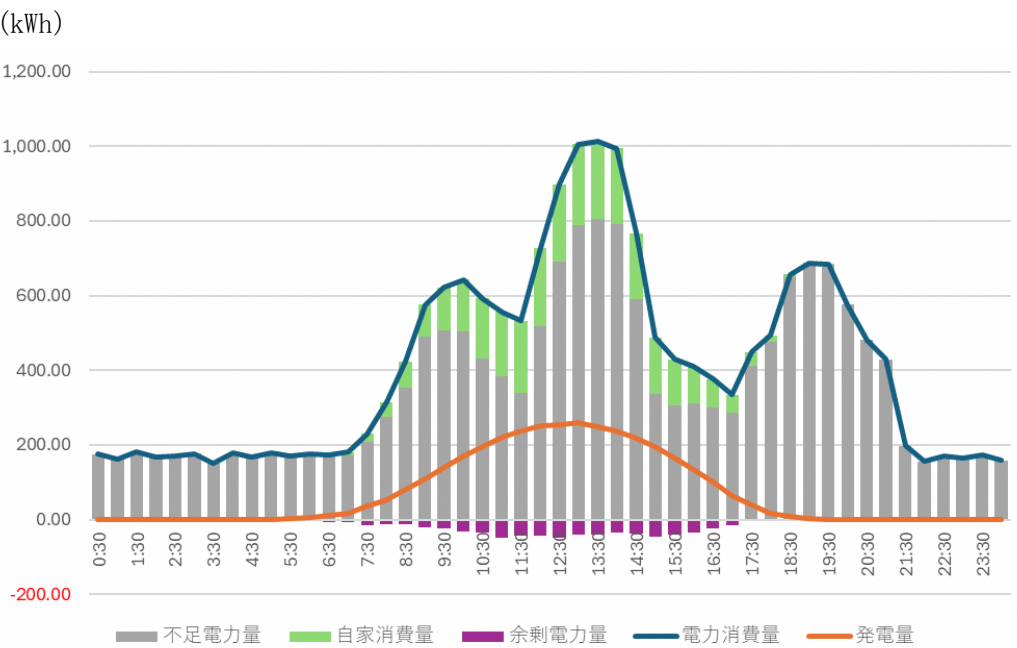
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳(年間)





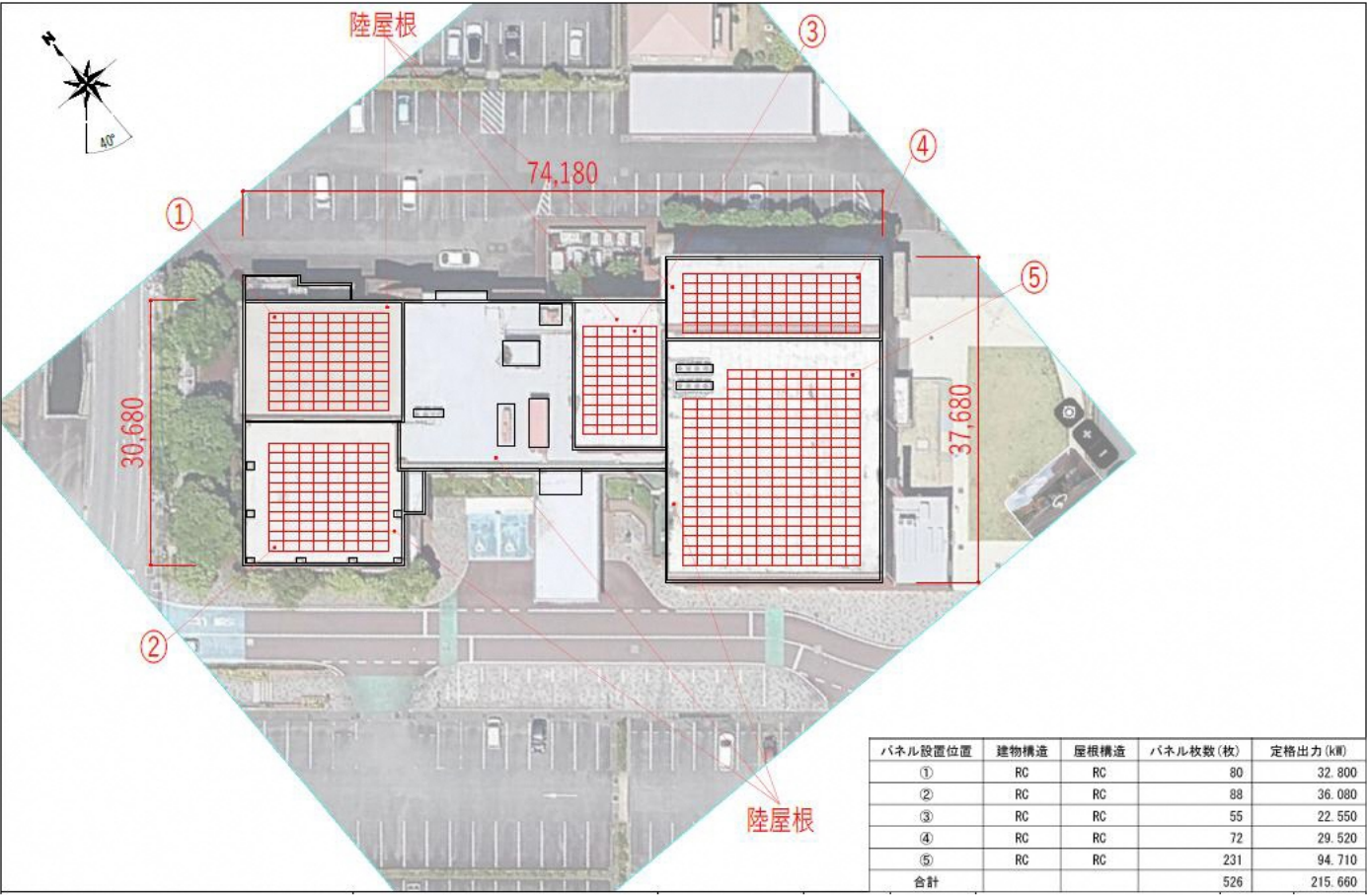
(3) 函南町文化センター

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 215.66kW であり、年間発電量 272,081kWh は本施設の電力消費量の 151%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス（以下最適出力という）を考慮した出力は 47.56kW であり、年間発電量は 60,003kWh、自家消費量は 48,052kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 111 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 20,230kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は高いと考えられる。
- 防水は良好だが、西側建屋は緩衝マットの入ったシート防水のため、施工時の防水が難しい。
- 設置面積が大きいので、隣接する函南町図書館と電力融通を検討する。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力（kW）	年間発電量（kWh）	建築年	建物構造	耐震補強
文化センター	215.66	272,081	1986	R C	不要

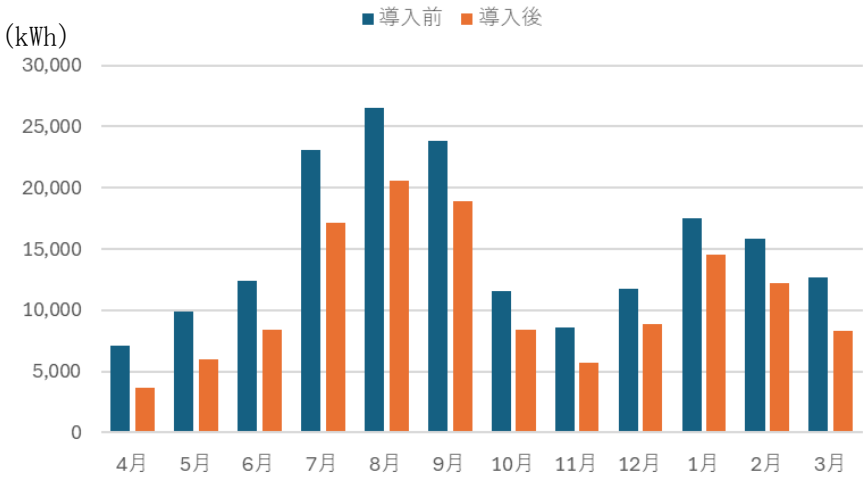
太陽光発電設置箇所



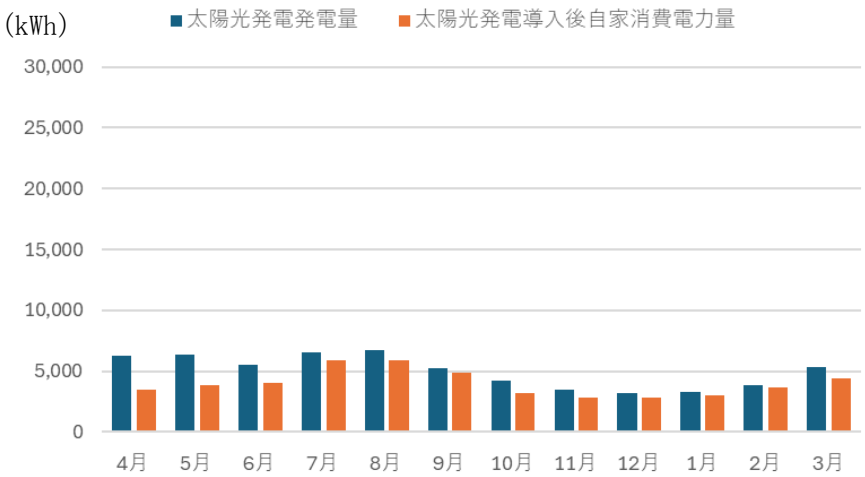
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
180,768kWh	277kW	47.56kW	60,003kWh	48,052kWh	80.1%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
9,519,534 円	8,411,747 円	1,107,787 円	131,461 円	20,230kg-CO <sub>2</sub>	

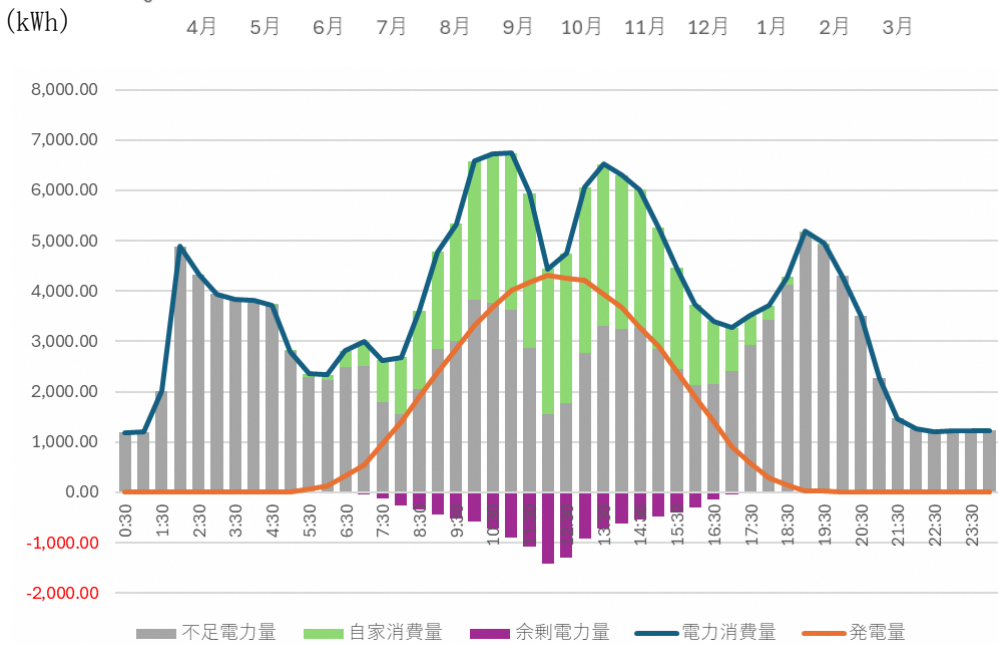
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳（年間）



(4) 函南町体育館

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 144.32kW であり、年間発電量 182,077kWh は本施設の電力消費量の 236%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス（以下最適出力という）を考慮した出力は 13.12kW であり、年間発電量は 16,552kWh、自家消費量は 13,253kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 31 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 5,580kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は低いと考えられる。
- 屋根や周辺環境の状況については問題なし。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
函南町体育館	144.32	182,077	1983	S R C	不要

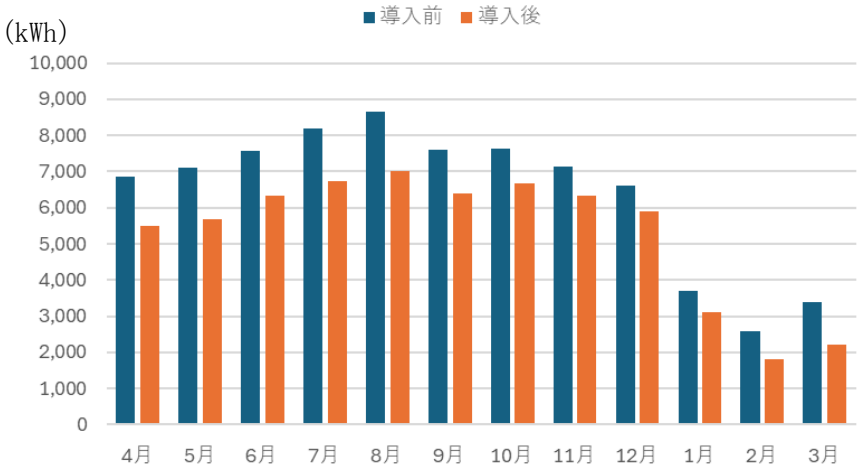
太陽光発電設置箇所



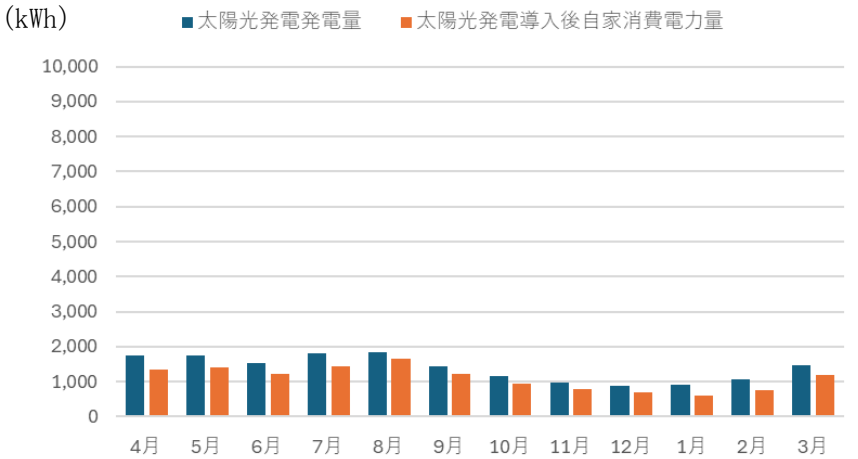
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
77,007kWh	33kW	13.12kW	16,552kWh	13,253kWh	80.1%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
2,408,719 円	2,103,553 円	305,166 円	36,217 円	5,580kg-CO <sub>2</sub>	

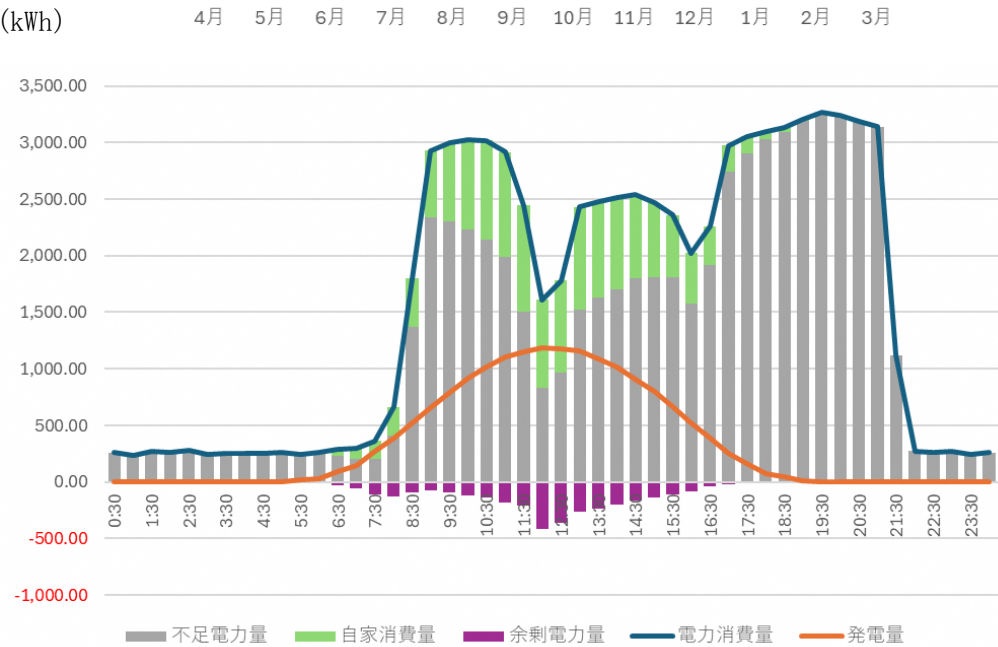
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳(年間)





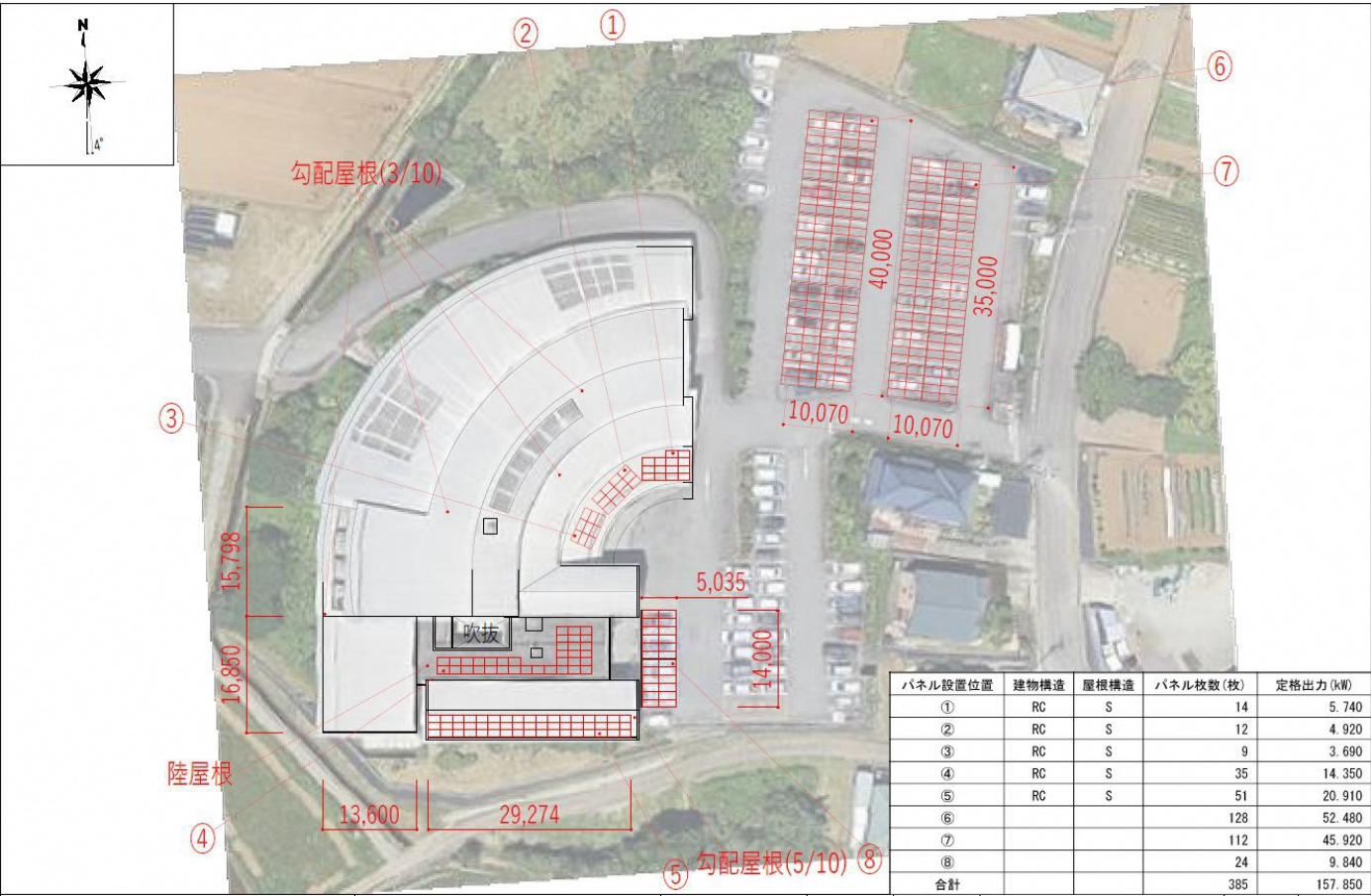
(5)湯〜トピアかなみ

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 157.85kW であり、年間発電量 199,147kWh は本施設の電力消費量の 31%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス（以下最適出力という）を考慮した出力は 157.85kW であり、年間発電量は 199,147kWh、自家消費量は 180,072kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 414 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 71,669kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は中程度と考えられる。  
（ソーラーカーポートを設置しない場合の優先順位は特に高いと考えられる。）
- 建物への太陽光発電設置可能箇所は下図基本図面の通りだが電力消費量は多いため、駐車場への太陽光発電設置を追加検討した。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力（kW）	年間発電量（kWh）	建築年	建物構造	耐震補強
湯〜トピアかなみ	157.85	199,147	2002	S（一部RC）	不要

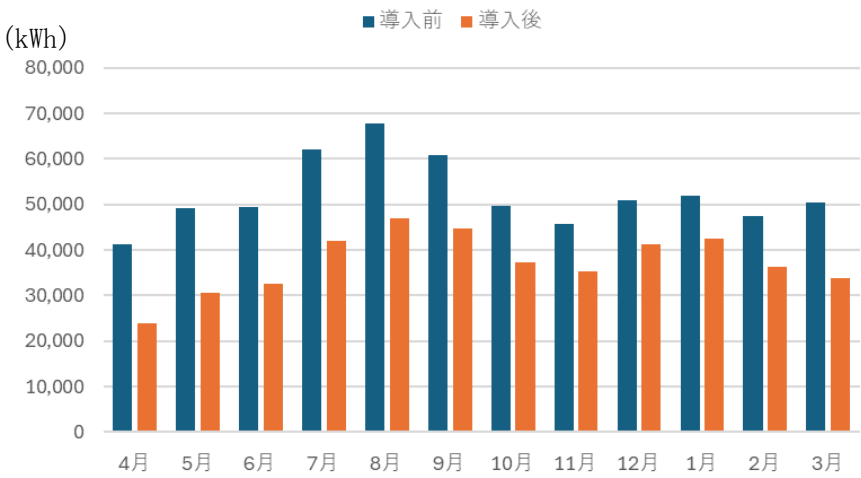
太陽光発電設置箇所



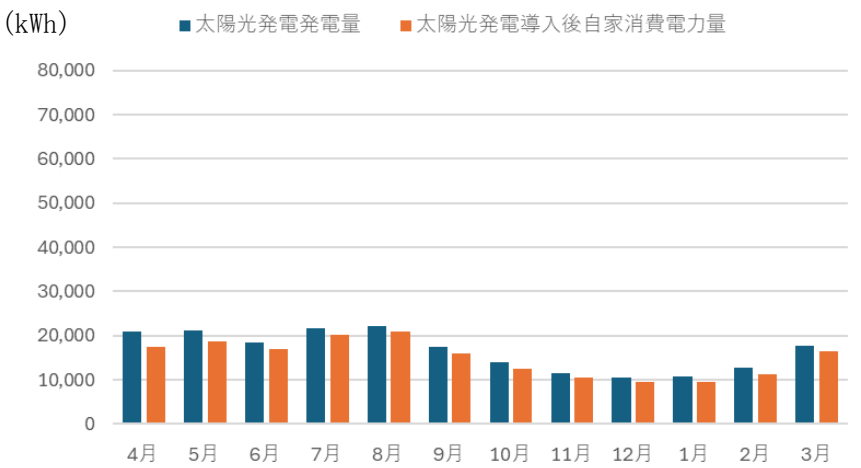
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
626,584kWh	211kW	157.85kW	199,147kWh	180,072kWh	90.4%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
18,480,927 円	14,336,189 円	4,144,738 円	209,823 円	71,669kg-CO <sub>2</sub>	

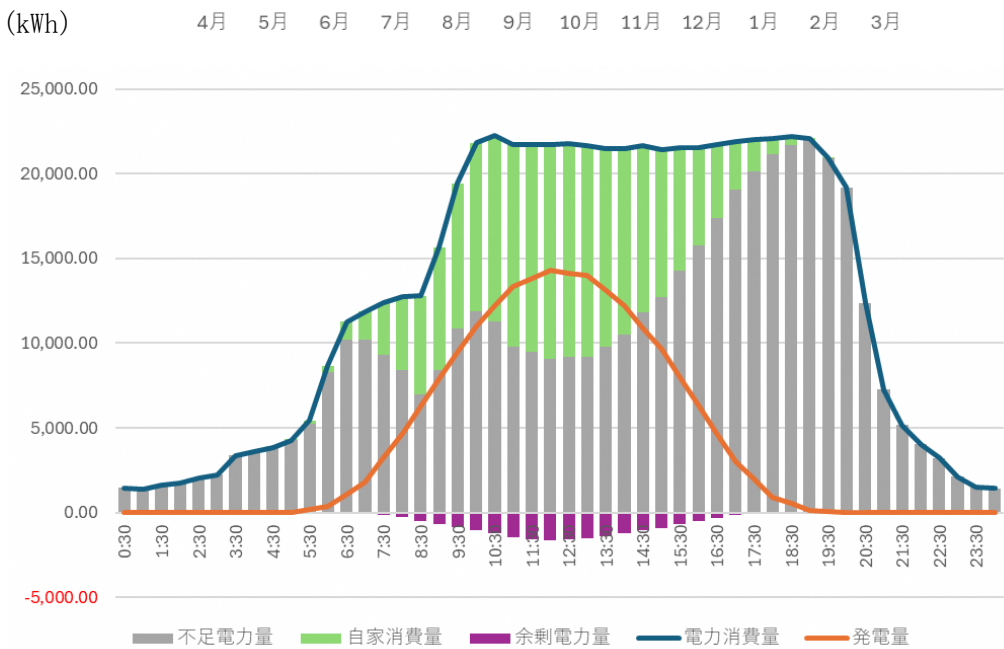
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳（年間）



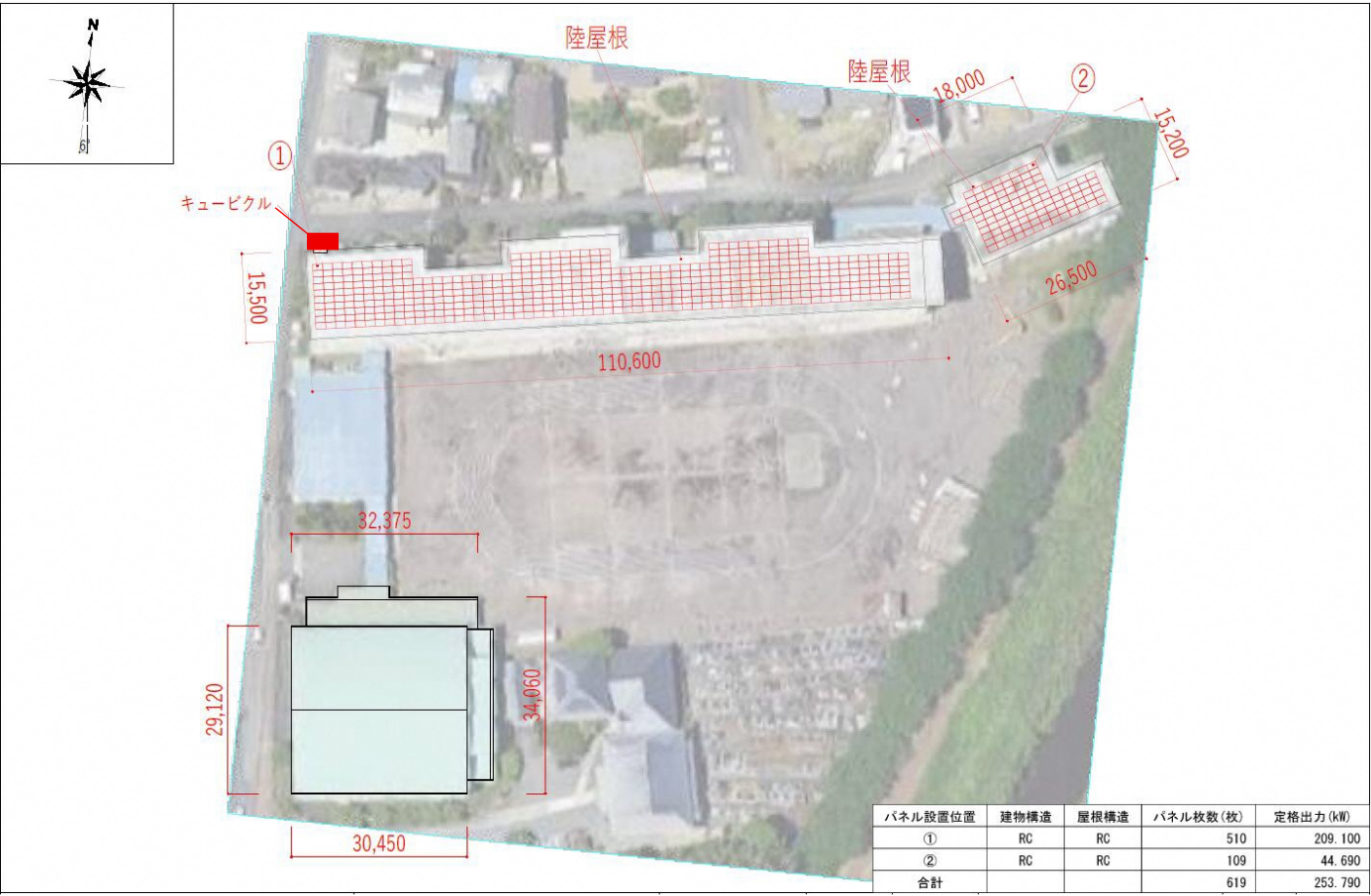
(6) 函南小学校

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 253.79kW であり、年間発電量 320,187kWh は本施設の電力消費量の 230%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス（以下最適出力という）を考慮した出力は 41.00kW であり、年間発電量は 51,727kWh、自家消費量は 41,413kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 95 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 17,435kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は高いと考えられる。
- 校舎屋上の防水シートの劣化や破損はない。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
校舎北側	209.10	263,805	1968	R C	補強済
校舎増築	44.69	56,382	1982	R C	不要
合計	253.79	320,187			

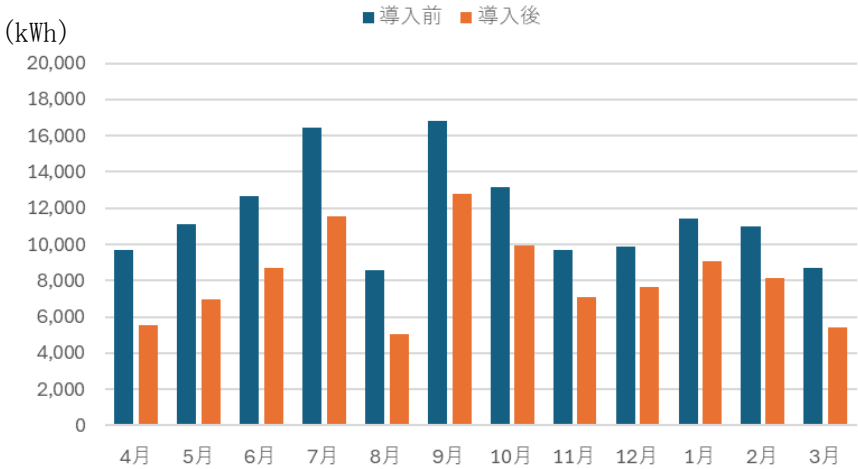
太陽光発電設置箇所



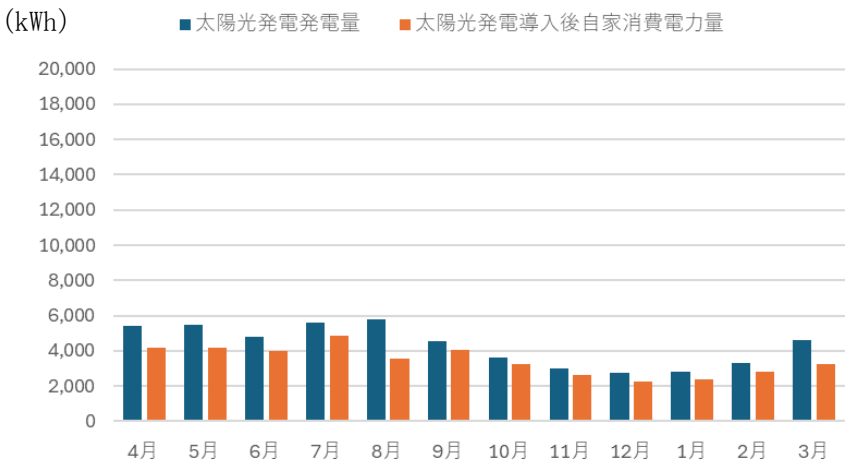
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
139,238kWh	133kW	41.00kW	51,727kWh	41,413kWh	80.1%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
5,766,259 円	4,813,795 円	952,464 円	113,454 円	17,435kg-CO <sub>2</sub>	

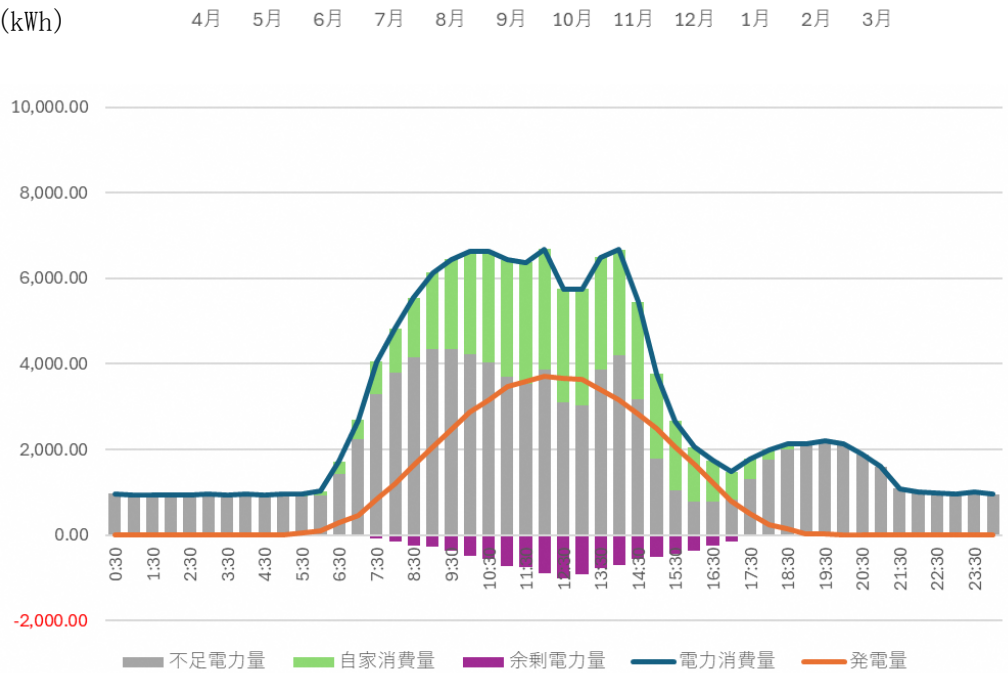
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳 (年間)





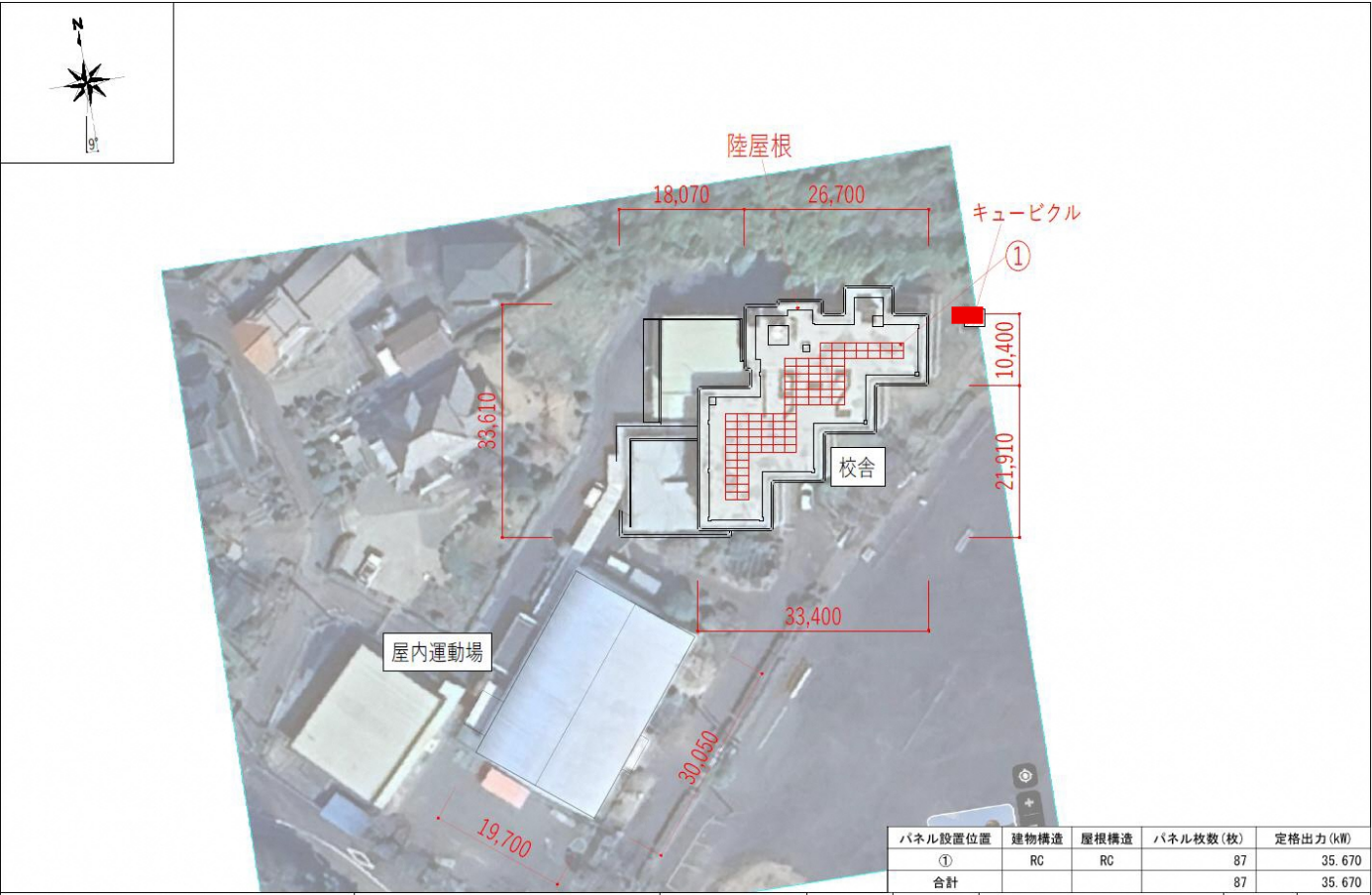
(7) 丹那小学校

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 35.67kW であり、年間発電量 45,002kWh は本施設の電力消費量の 53%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス（以下最適出力という）を考慮した出力は 26.65kW であり、年間発電量は 33,622kWh、自家消費量は 26,932kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 62 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 11,338kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は高いと考えられる。
- 校舎屋上の防水シートの劣化や破損はない。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力（kW）	年間発電量（kWh）	建築年	建物構造	耐震補強
校舎	35.67	45,002	1978	R C	補強済

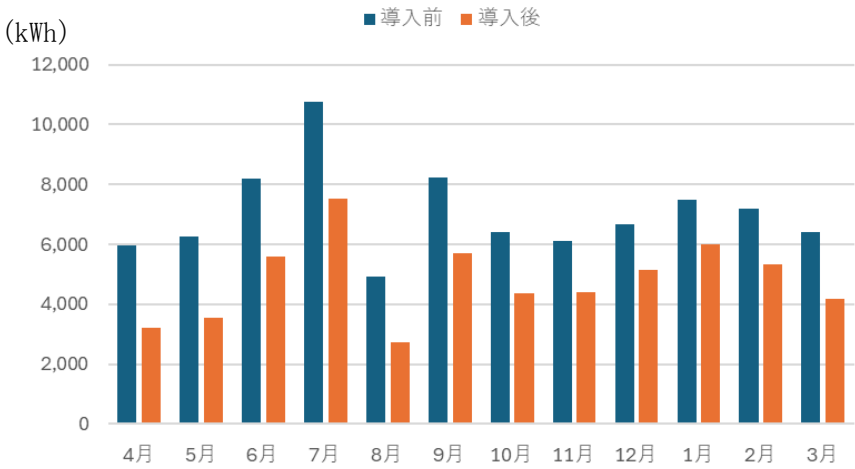
太陽光発電設置箇所



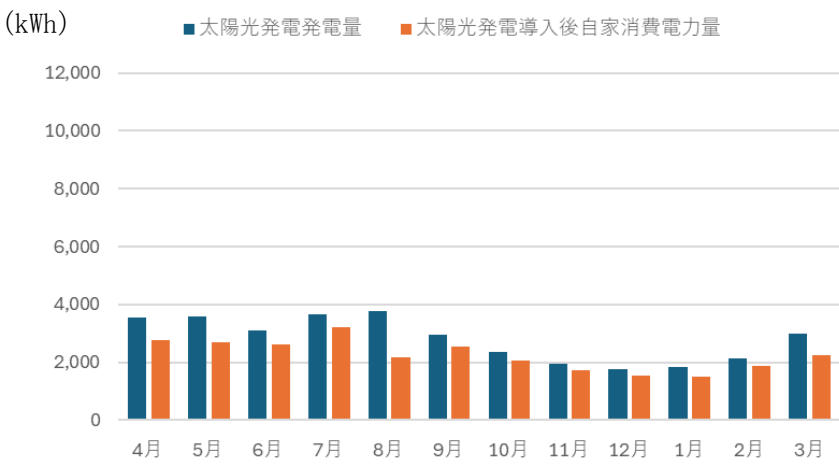
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
84,657kWh	83kW	26.65kW	33,622kWh	26,932kWh	80.1%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
3,545,320 円	2,926,081 円	619,239 円	73,598 円	11,338kg-CO <sub>2</sub>	

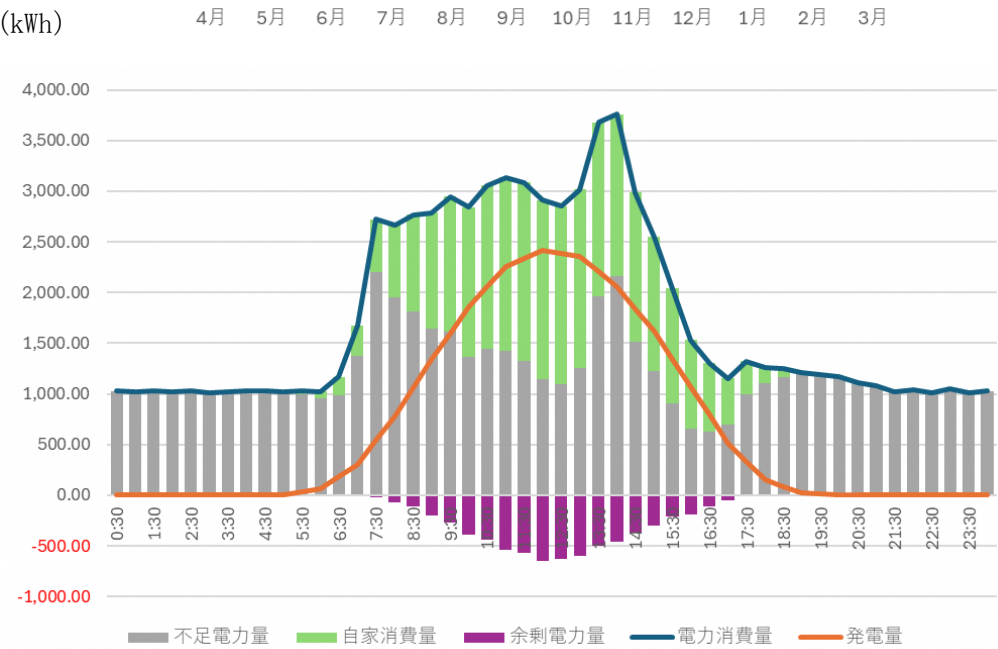
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳 (年間)



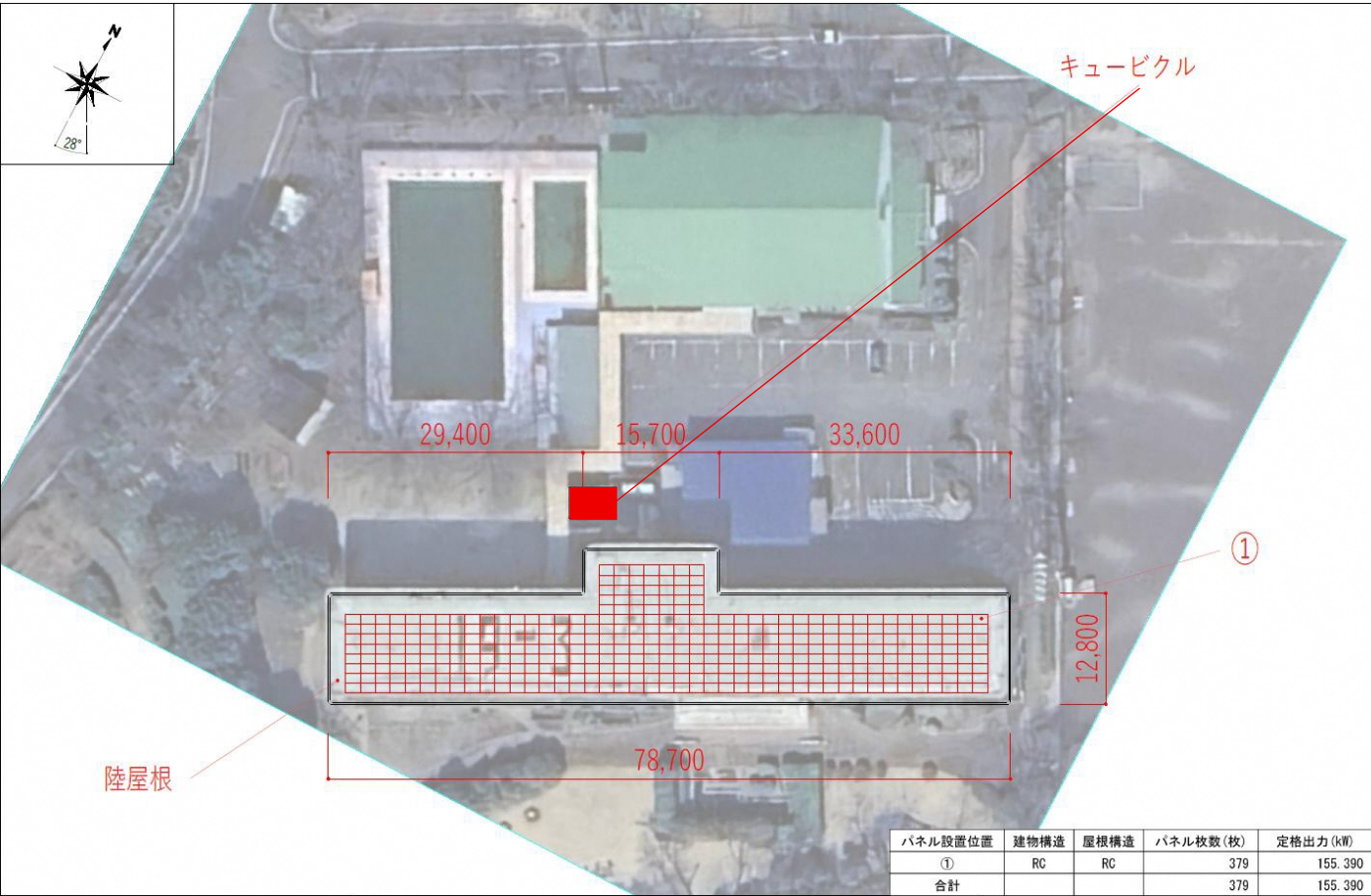
(8) 桑村小学校

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 155.39kW であり、年間発電量 196,043kWh は本施設の電力消費量の 161%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス（以下最適出力という）を考慮した出力は 35.67kW であり、年間発電量は 45,002kWh、自家消費量は 35,985kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 83 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 15,150kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は中程度と考えられる。
- 校舎屋上の防水シートに浮きやハガレがあるため修繕が必要。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
校舎	155.39	196,043	1982	R C	不要

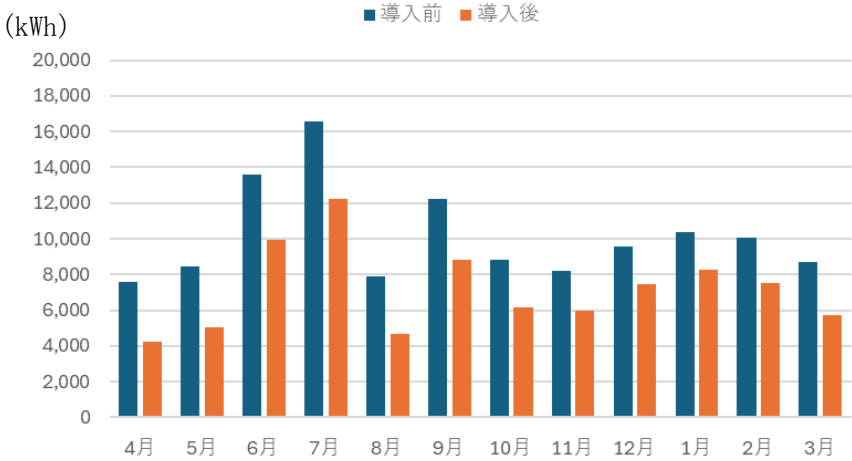
太陽光発電設置箇所



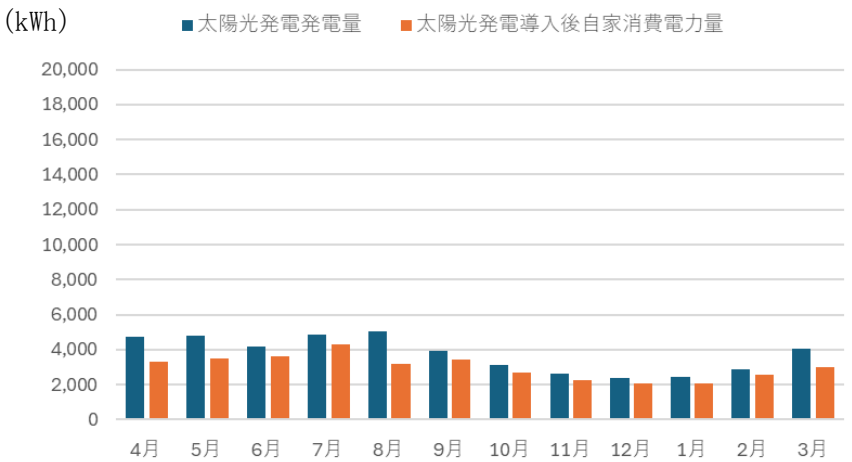
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
122,124kWh	104kW	35.67kW	45,002kWh	35,985kWh	80.0%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
4,813,681 円	3,985,850 円	827,780 円	99,182 円	15,150kg-CO <sub>2</sub>	

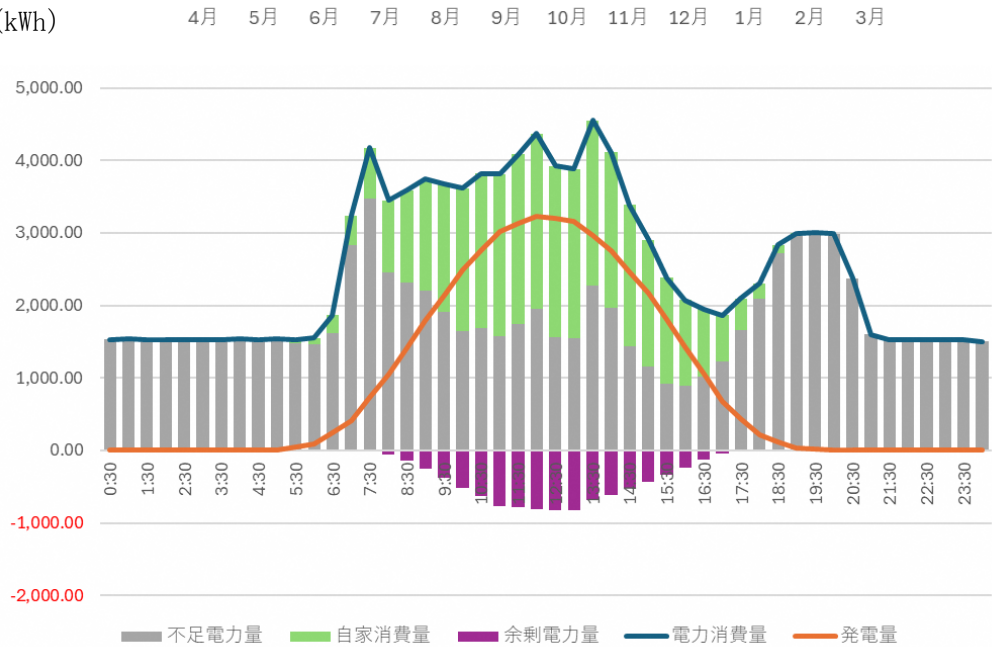
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳(年間)





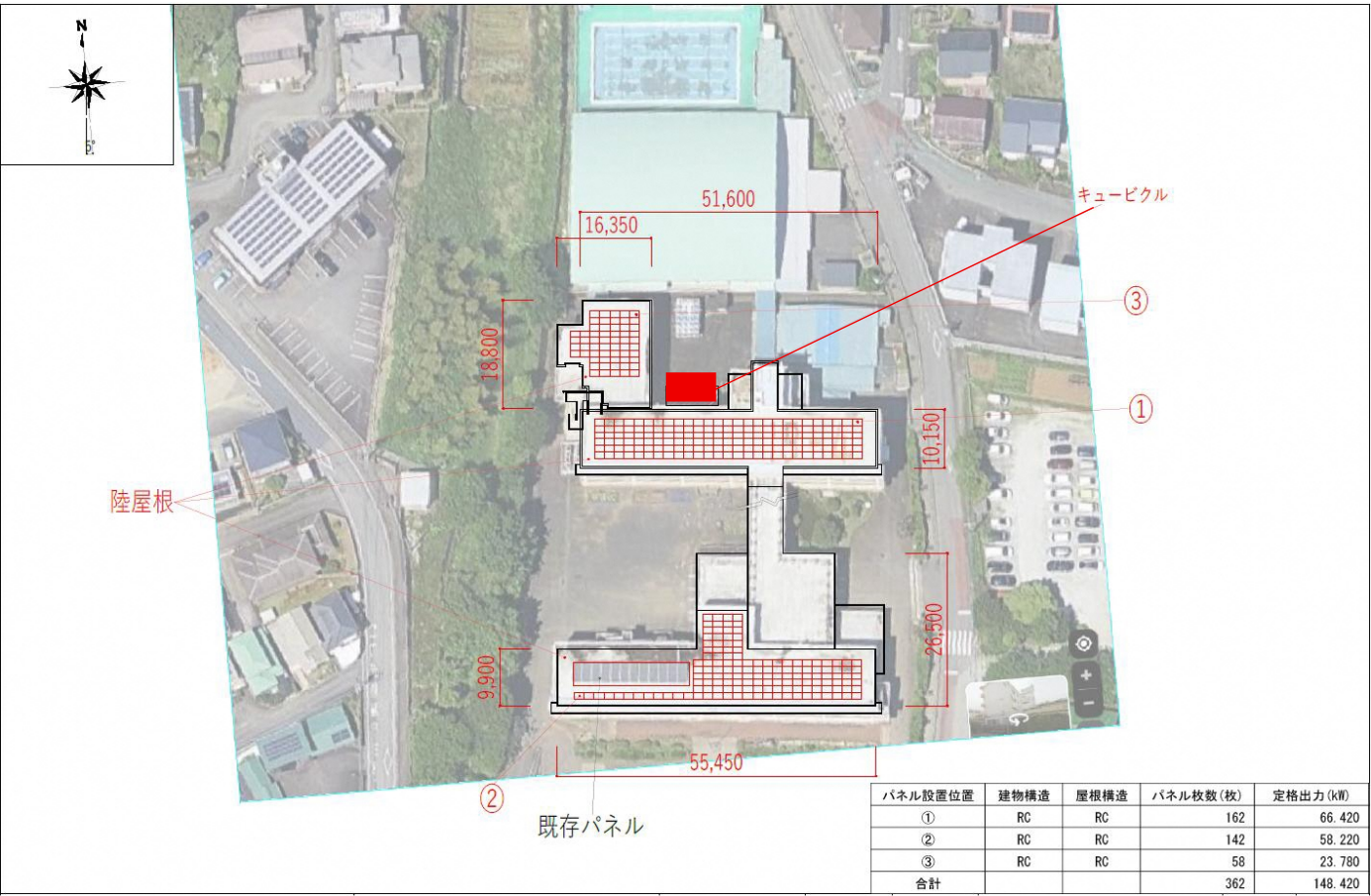
(9) 東小学校

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 148.42kW であり、年間発電量 187,250kWh は本施設の電力消費量の 100%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス（以下最適出力という）を考慮した出力は 32.39kW であり、年間発電量は 40,864kWh、自家消費量は 32,716kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 75 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 13,773kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は中程度と考えられる。
- 校舎屋上の防水シートの劣化や破損はない。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
校舎A	66.42	83,797	1976	R C	補強済
校舎B	58.22	73,452	1976	R C	補強済
校舎B増築	23.78	30,001	1978	R C	補強済
合計	148.42	187,250			

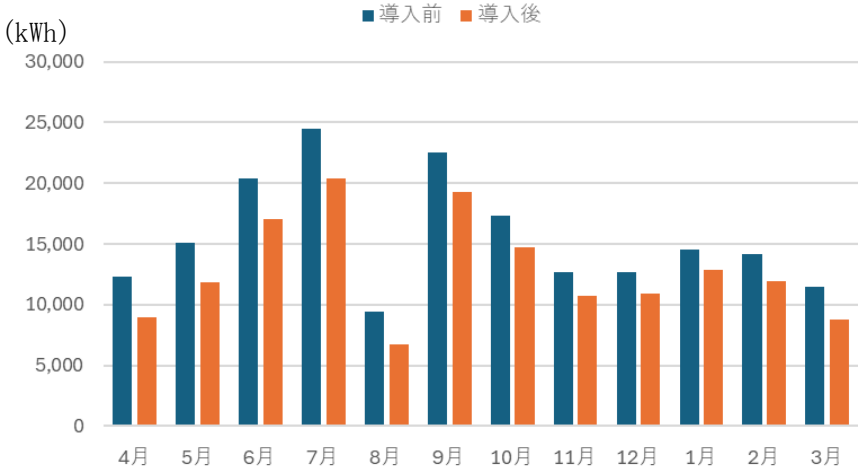
太陽光発電設置箇所



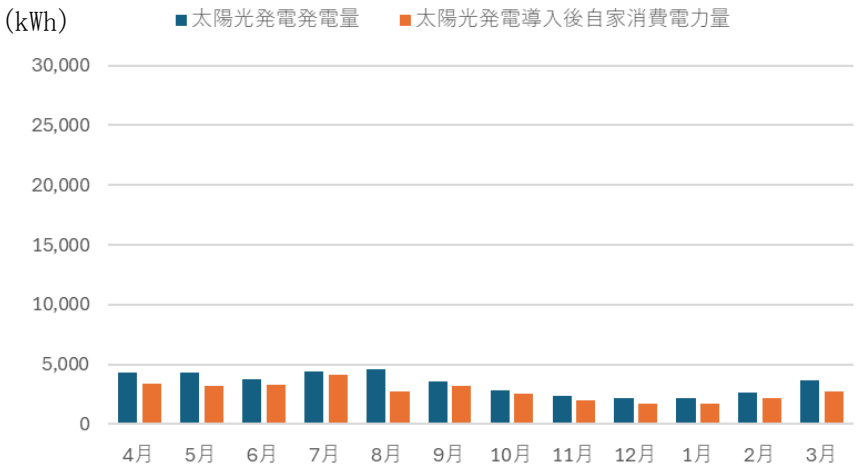
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
187,098kWh	157kW	32.39kW	40,864kWh	32,716kWh	80.1%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
7,329,844 円	6,577,229 円	752,615 円	89,628 円	13,773kg-CO <sub>2</sub>	

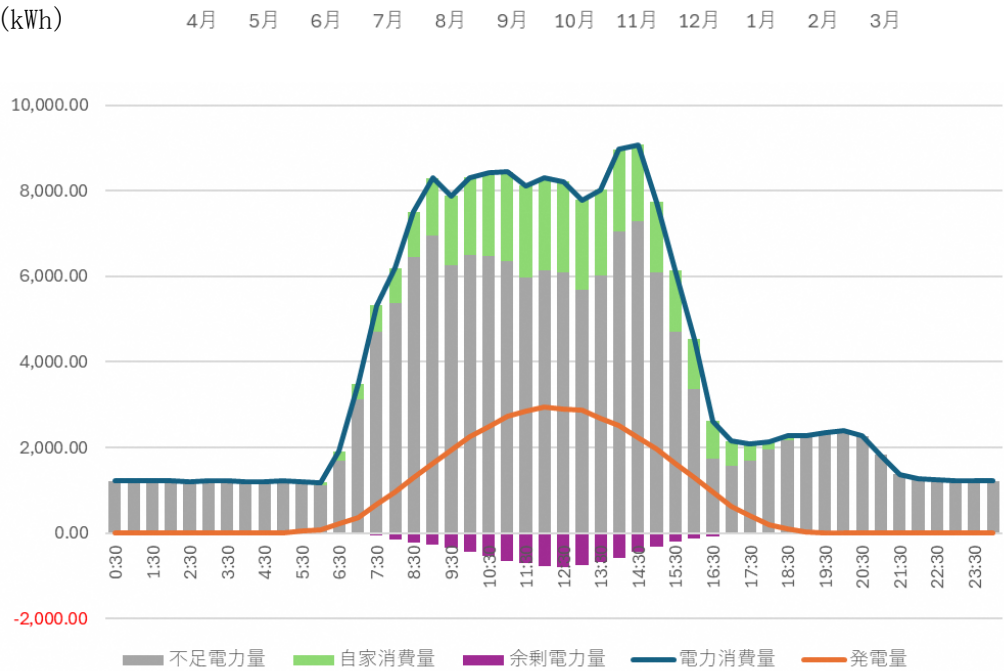
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳(年間)



(10) 函南中学校

- 荷余余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 409.59kW であり、年間発電量 516,748kWh は本施設の電力消費量の 210%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス(以下最適出力という)を考慮した出力は 9.43kW であり、年間発電量は 94,142kWh、自家消費量は 75,356kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 199 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 31,725kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は特に高いと考えられる。
- 校舎屋上の防水シートの劣化や破損はない。
- 屋内運動場の屋根から雨漏りが確認されたため修繕が必要。

《最大設置可能量》

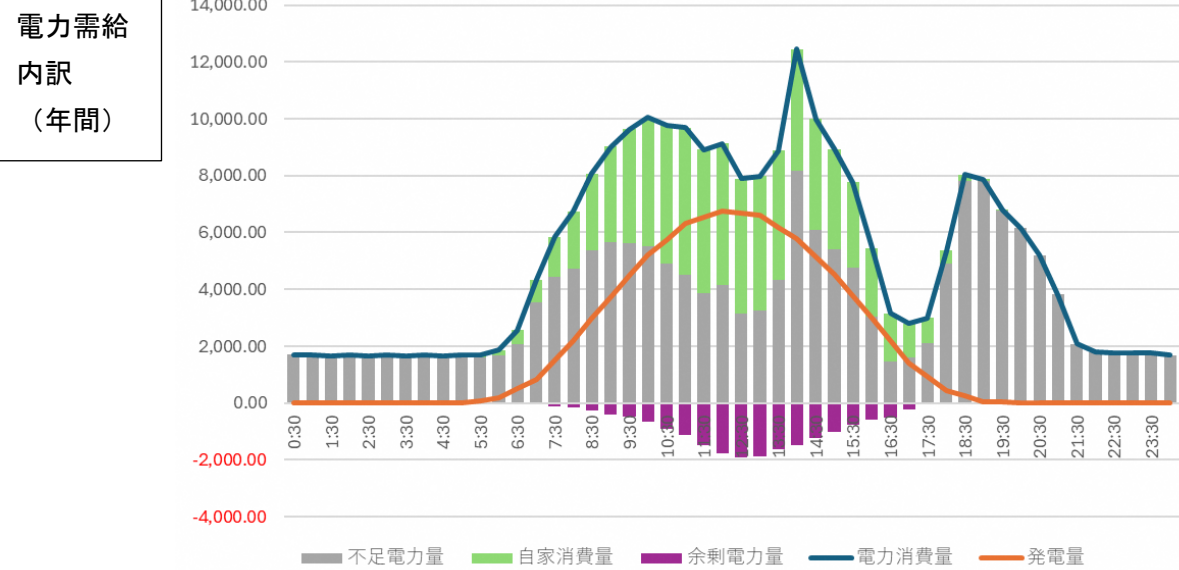
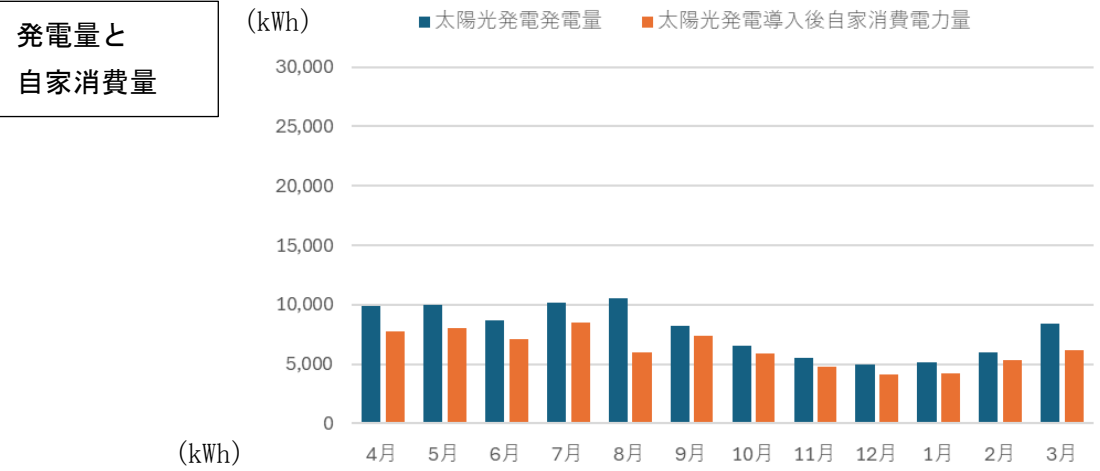
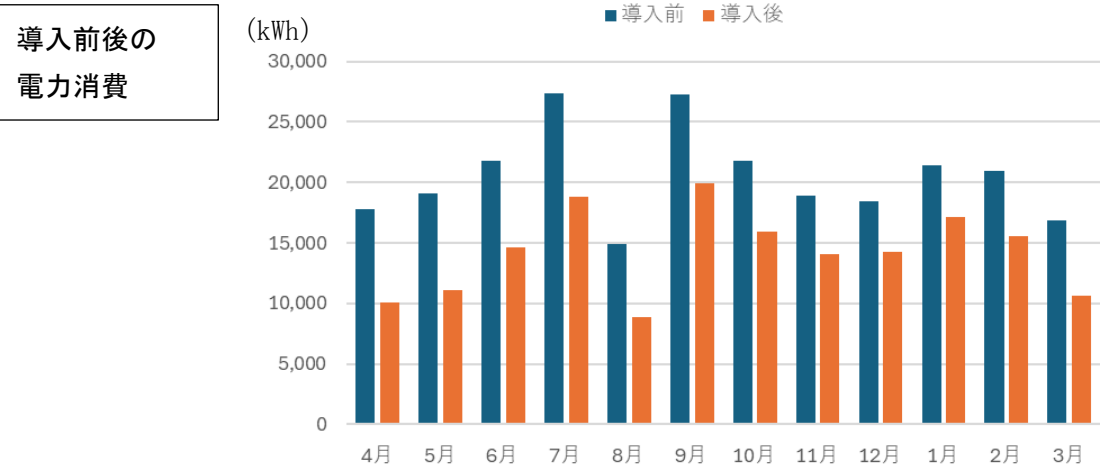
建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
北側普通教室棟①	95.12	120,005	1972	RC	不要
北側普通教室棟②	45.92	57,934	1972	RC	不要
南側特別教室棟①	114.8	144,834	1972	RC	不要
屋内運動場	153.75	193,974	2008	S	不要
合計	409.59	516,748			

太陽光発電設置箇所



《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
246,426kWh	181kW	74.62kW	94,142kWh	75,356kWh	80.0%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
10,000,811 円	8,009,107 円	1,991,705 円	206,650 円	31,725kg-CO <sub>2</sub>	





(11) 東中学校

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 271.83kW であり、年間発電量 342,947kWh は本施設の電力消費量の 143%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス（以下最適出力という）を考慮した出力は 77.08kW であり、年間発電量は 97,246kWh、自家消費量は 77,786kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 179 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 32,748kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は特に高いと考えられる。
- 校舎屋上の防水シートに浮きやハガレがあるため修繕が必要。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
校舎	271.83	342,947	1982	S	不要

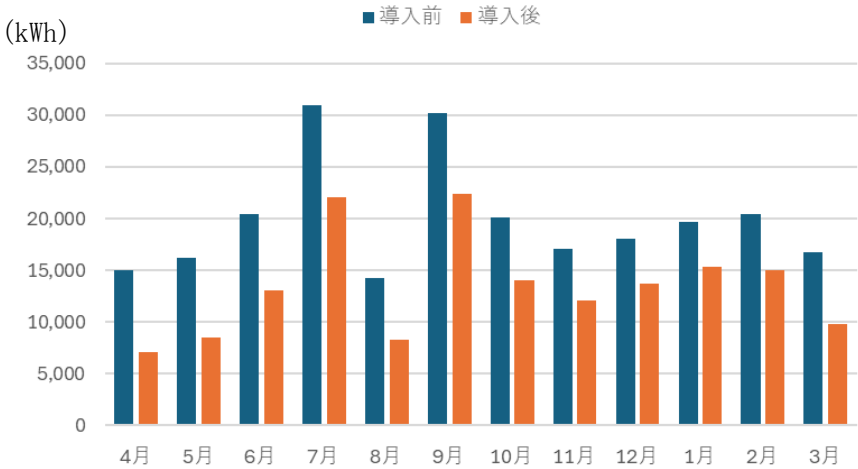
太陽光発電設置箇所



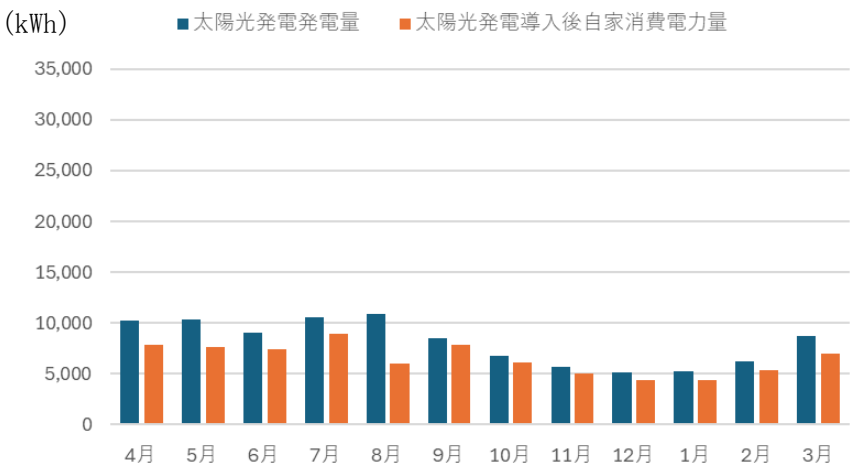
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
239,114kWh	273kW	77.08kW	97,246kWh	77,786kWh	80.0%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
10,766,312 円	8,978,075 円	1,788,237 円	214,061 円	32,748kg-CO <sub>2</sub>	

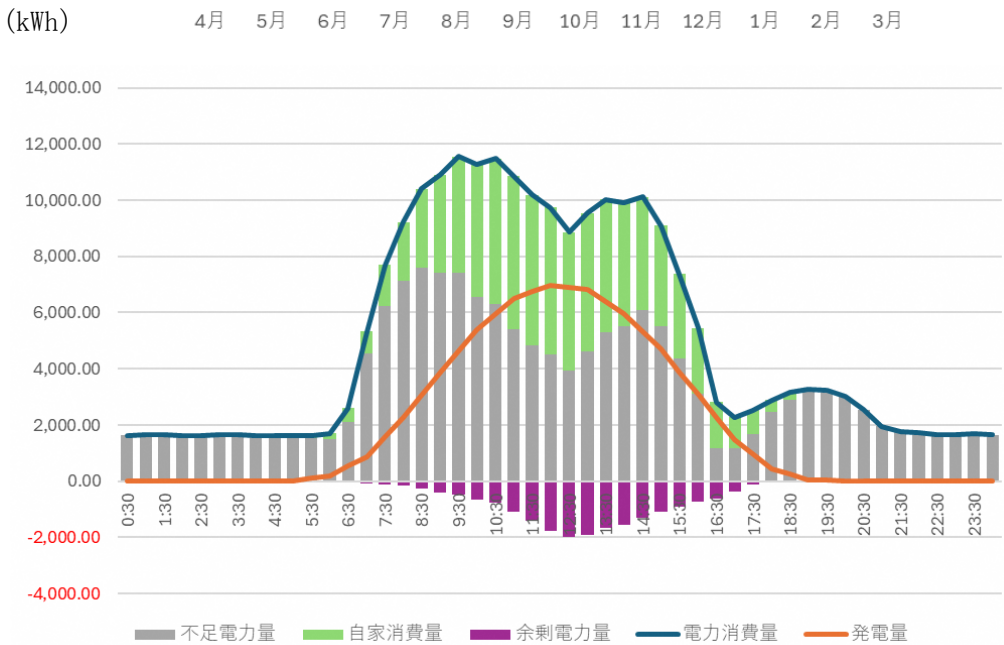
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳(年間)



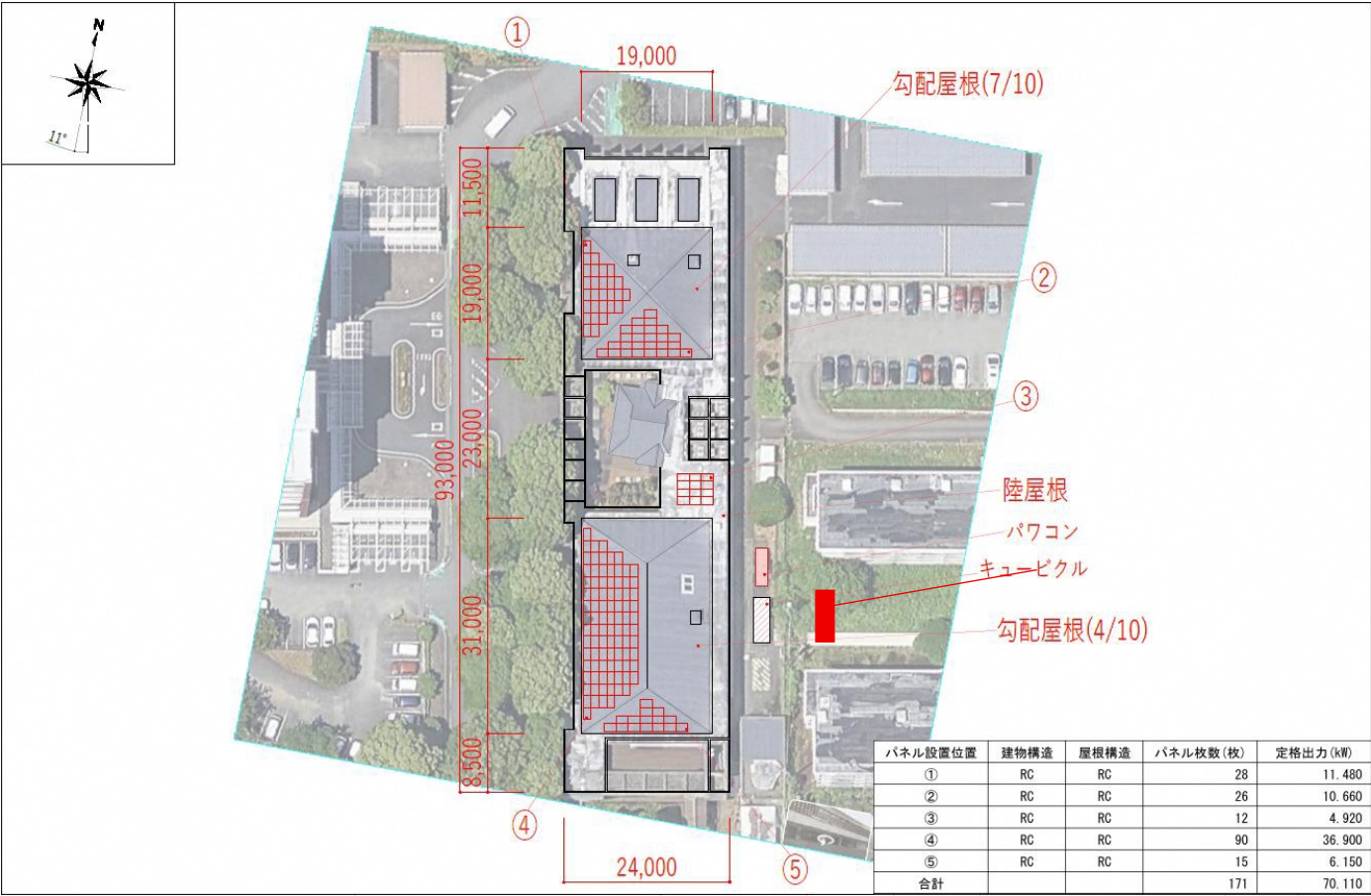
(12) 保健福祉センター

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 70.11kW であり、年間発電量 88,452kWh は本施設の電力消費量の 54%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス（以下最適出力という）を考慮した出力は 54.12kW であり、年間発電量は 77,171kWh、自家消費量は 61,707kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 142 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 25,979kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は特に高いと考えられる。
- 建物西側の樹木による日射障害を懸念したが、伐採可であるため問題はない。
- 建物西側が役場庁舎のため、太陽光パネルからの反射光の影響について検討が必要。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
保健福祉センター	70.11	88,452	1996	R C	不要

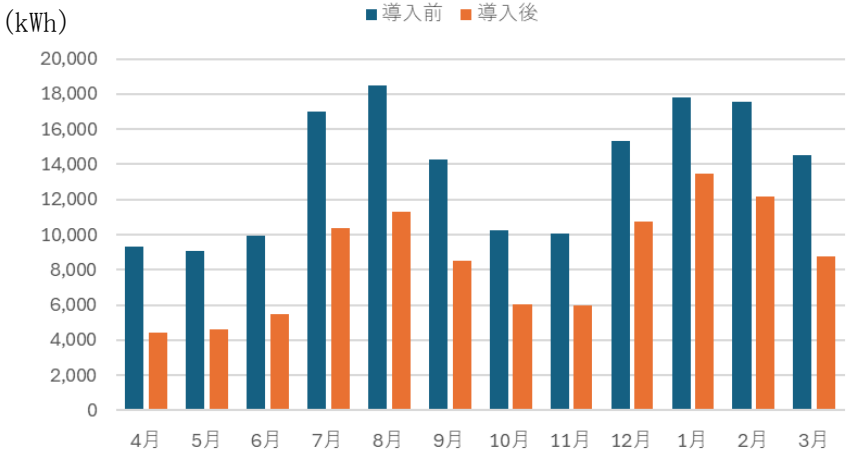
太陽光発電設置箇所



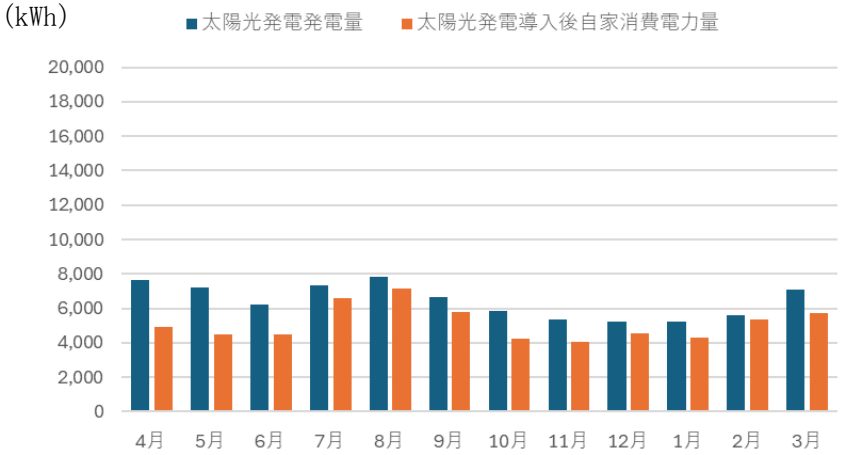
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
163,627kWh	110kW	54.12kW	77,171kWh	61,707kWh	80.0%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
5,884,399 円	4,464,049 円	1,420,329 円	170,102 円	25,979kg-CO <sub>2</sub>	

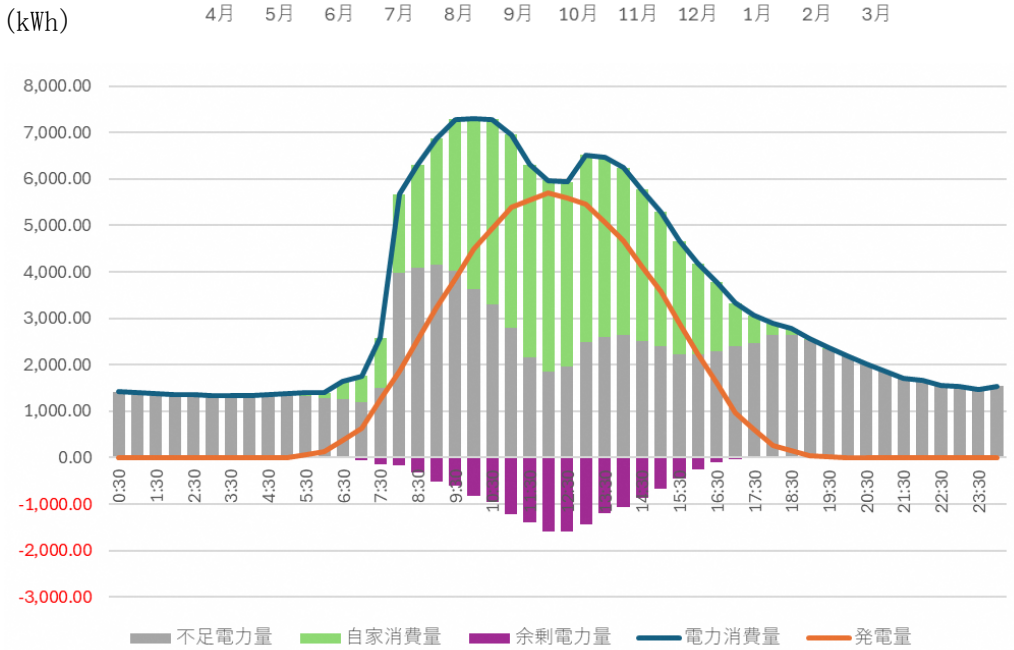
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳 (年間)





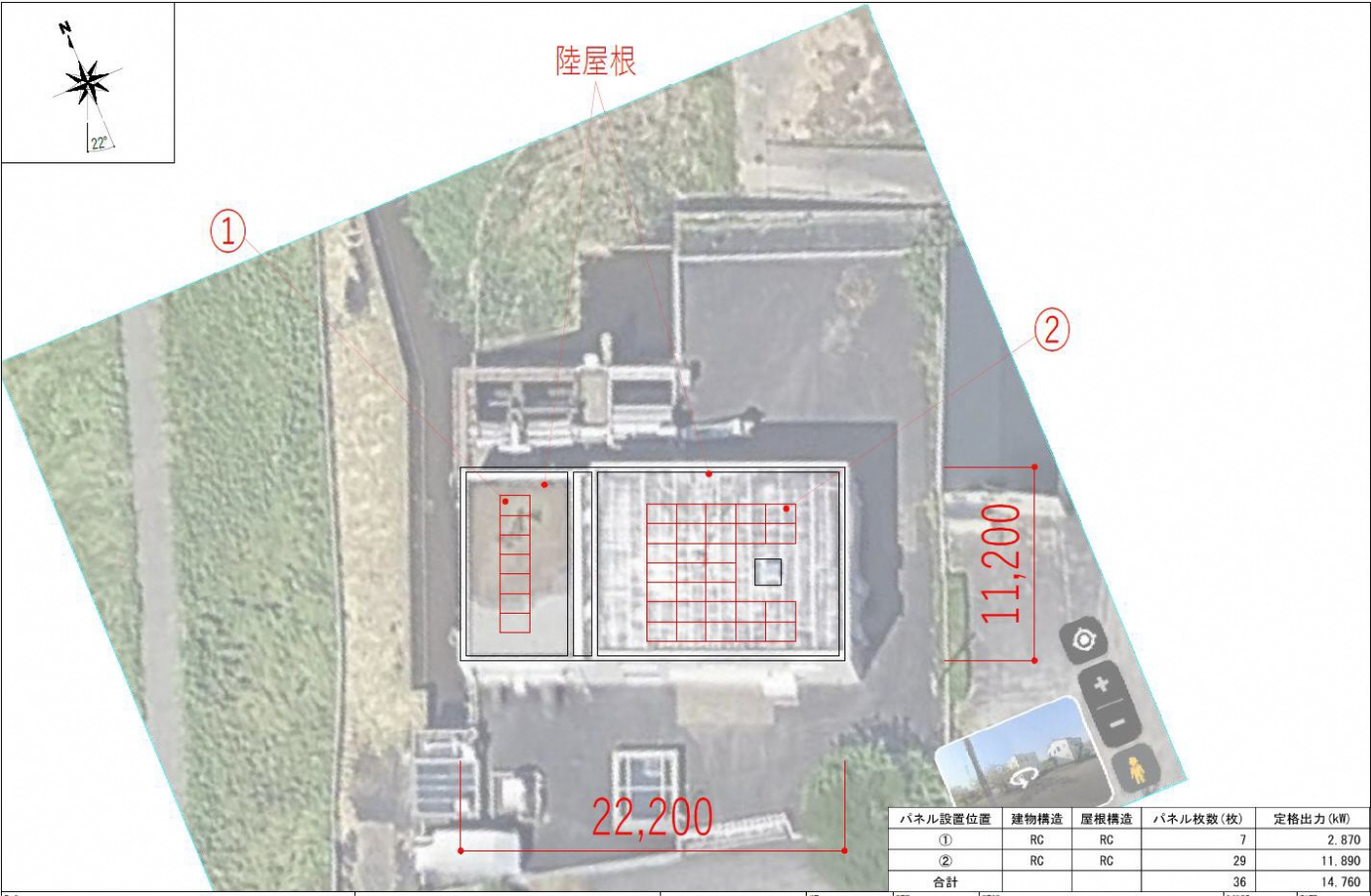
(13) 畑毛排水機場

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 14.76kW であり、年間発電量 18,622kWh は本施設の電力消費量の 55%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス(以下最適出力という)を考慮した出力は 6.97kW であり、年間発電量は 8,794kWh、自家消費量は 7,195kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 13 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 3,209kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は低いと考えられる。
- 屋上の防水シートに劣化や損傷はない。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
畑毛排水機場	14.76	18,622	1982	R C	不要

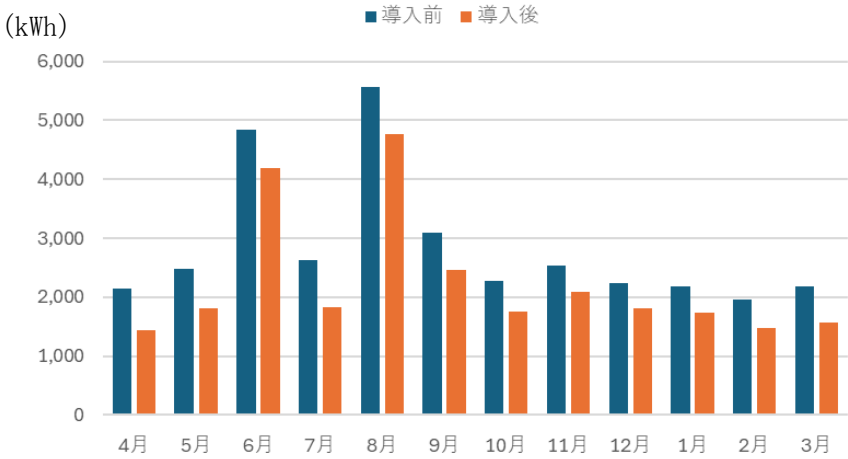
太陽光発電設置箇所



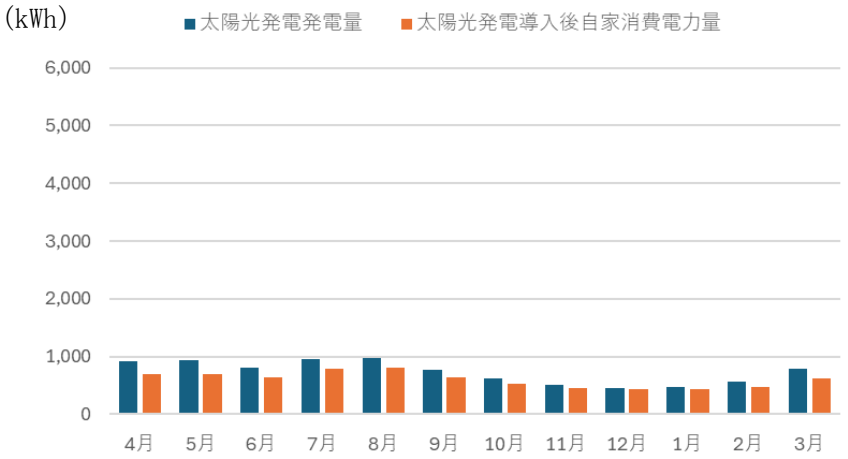
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
34,130kWh	267kW	6.97kW	8,794kWh	7,195kWh	81.8%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
5,785,967 円	5,651,430 円	134,537 円	17,588 円	3,029kg-CO <sub>2</sub>	

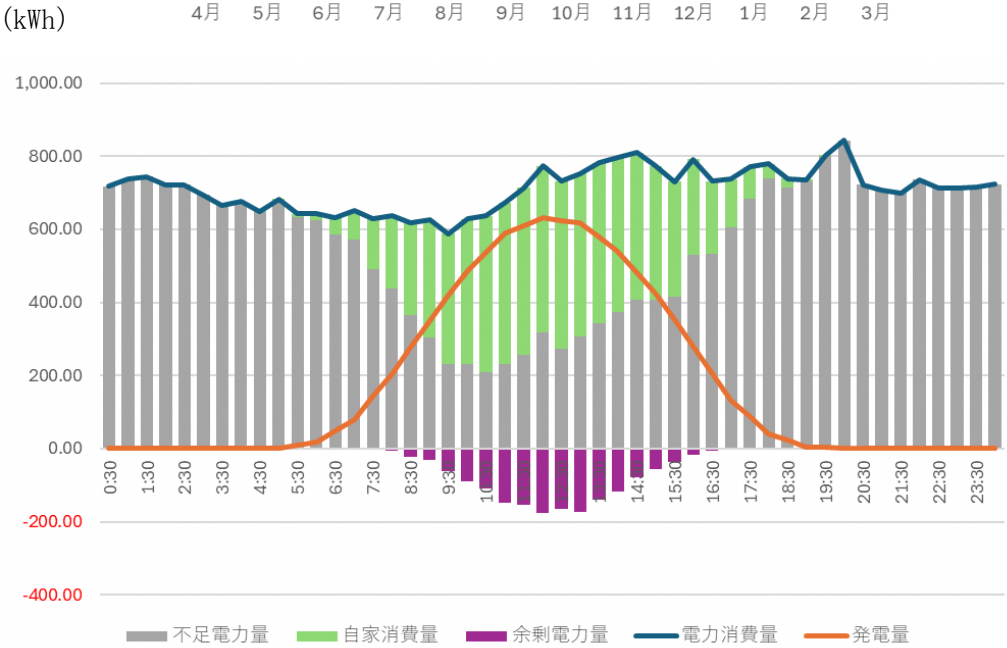
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳(年間)



(14) 稲妻排水機場

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 19.68kW であり、年間発電量 24,829kWh は本施設の電力消費量の 184%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス(以下最適出力という)を考慮した出力は 3.28kW であり、年間発電量は 4,138kWh、自家消費量は 3,450kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 25 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 1,453kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は中程度と考えられる。
- 屋上の防水シートに劣化や損傷はないが屋上に砂利が敷き詰められている。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
稲妻排水機場	19.68	24,829	1997	R C	不要

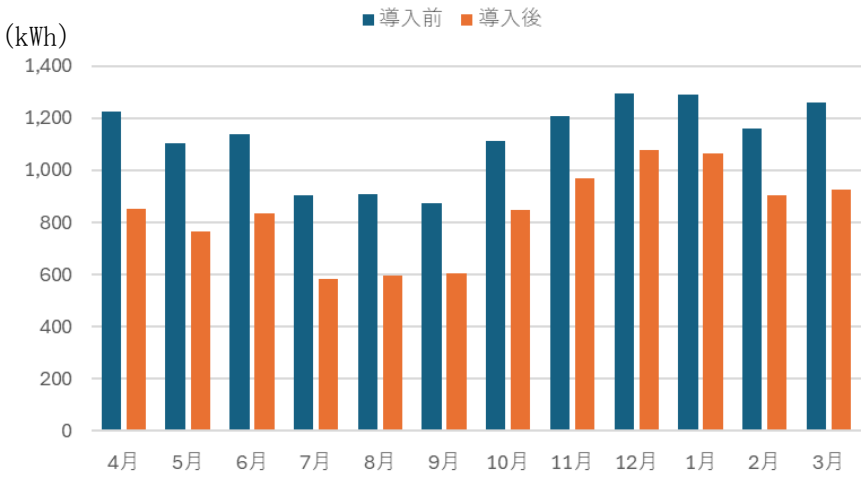
太陽光発電設置箇所



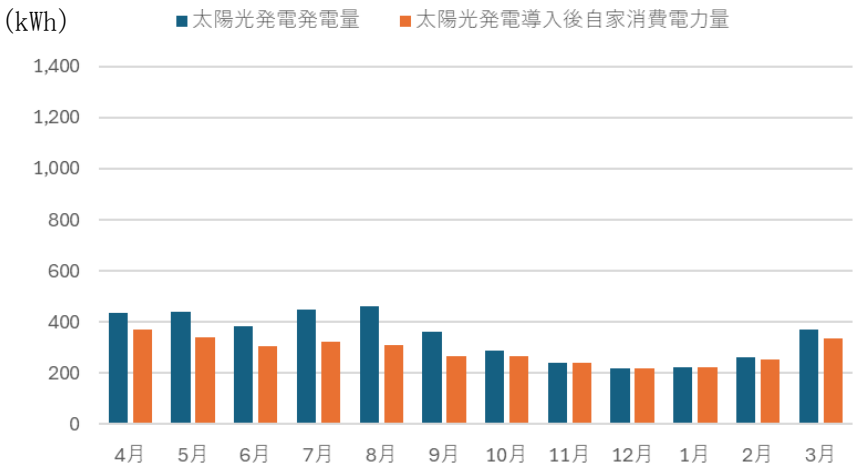
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
13,470kWh	37kW	3.28kW	4,138kWh	3,450kWh	83.4%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
1,108,946 円	1,007,271 円	245,677 円	27,990 円	1,453kg-CO <sub>2</sub>	

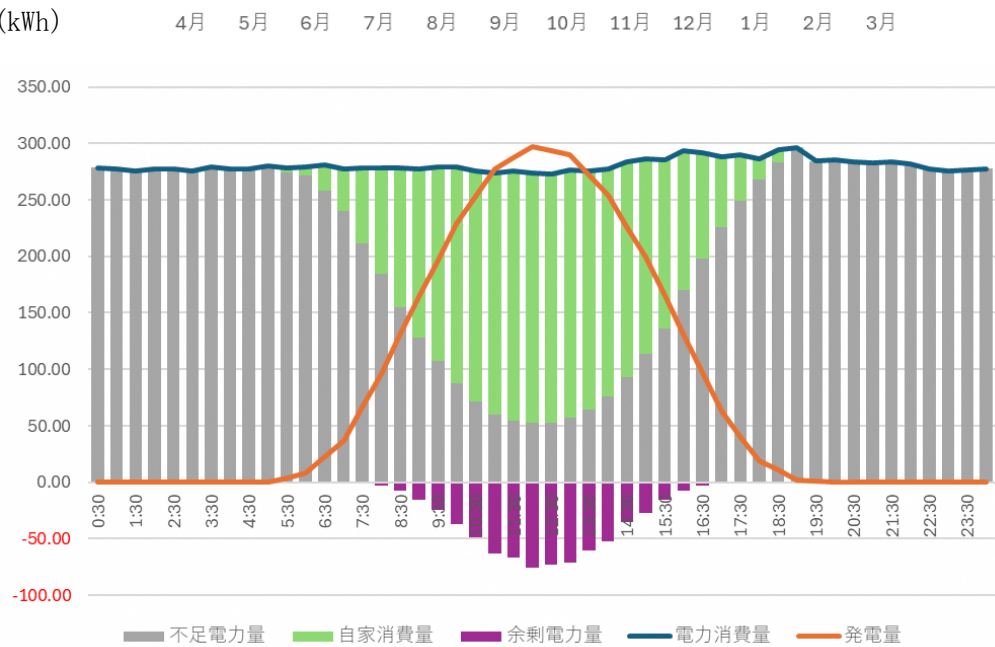
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳(年間)





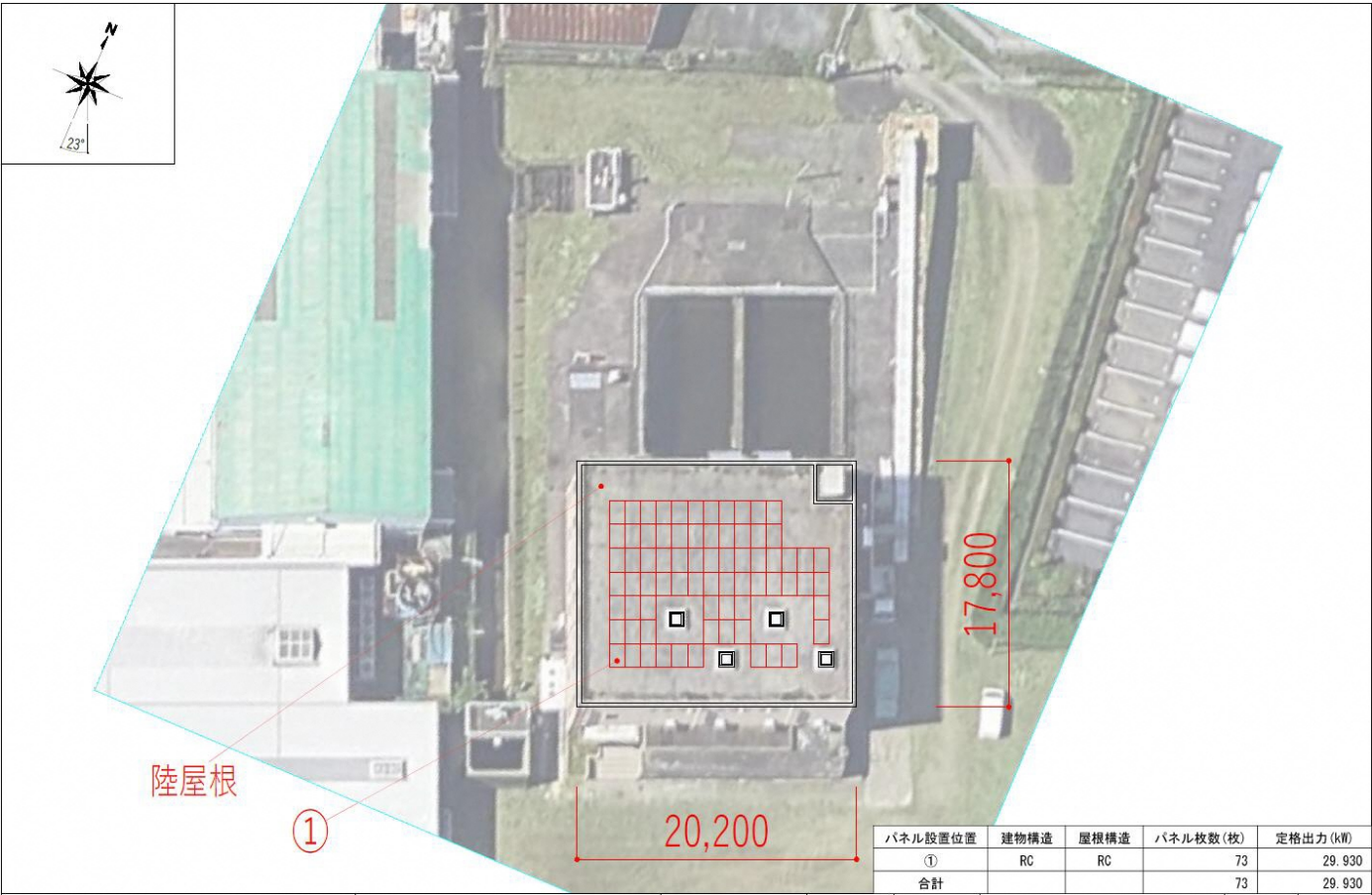
(15) 虹ヶ橋ポンプ場

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 29.93kW であり、年間発電量 37,760 n kWh は本施設の電力消費量の 115%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス(以下最適出力という)を考慮した出力は 7.79kW であり、年間発電量は 8,828kWh、自家消費量は 7,929kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 18 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 3,334kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は低いと考えられる。
- 屋上の防水シートの目地に雑草が生えており、修繕が必要。

《最大設置可能量》

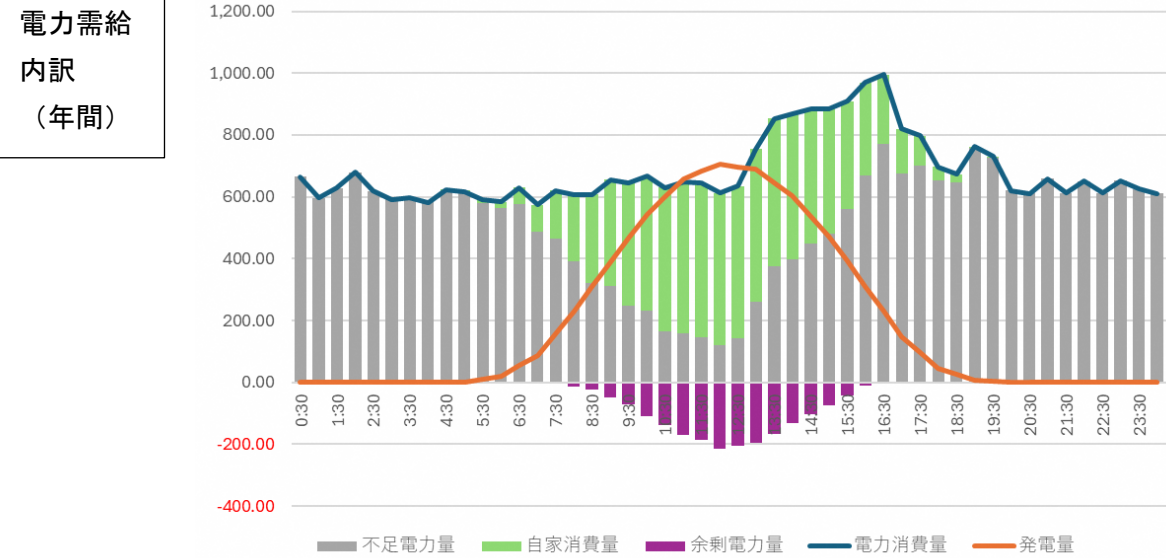
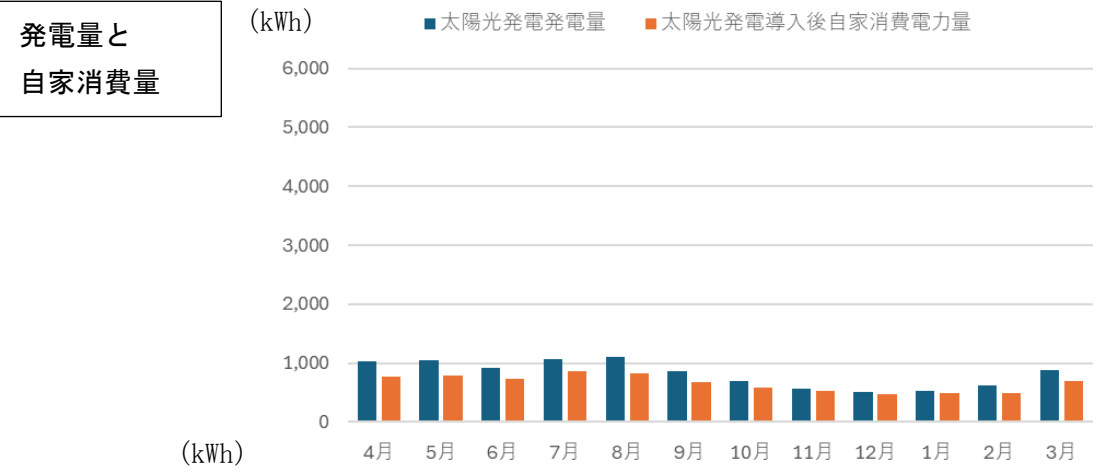
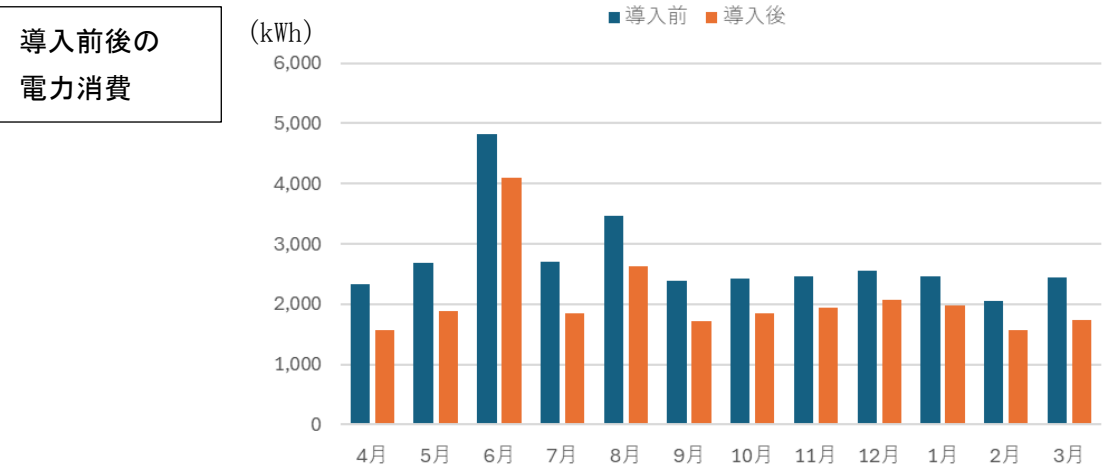
建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
虹ヶ橋ポンプ場	29.93	37,760	1988	R C	不要

太陽光発電設置箇所



《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
32,801kWh	413kW	7.79kW	9,828kWh	7,919kWh	80.6%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
8,709,836 円	8,528,890 円	180,946 円	20,994 円	3,334kg-CO <sub>2</sub>	



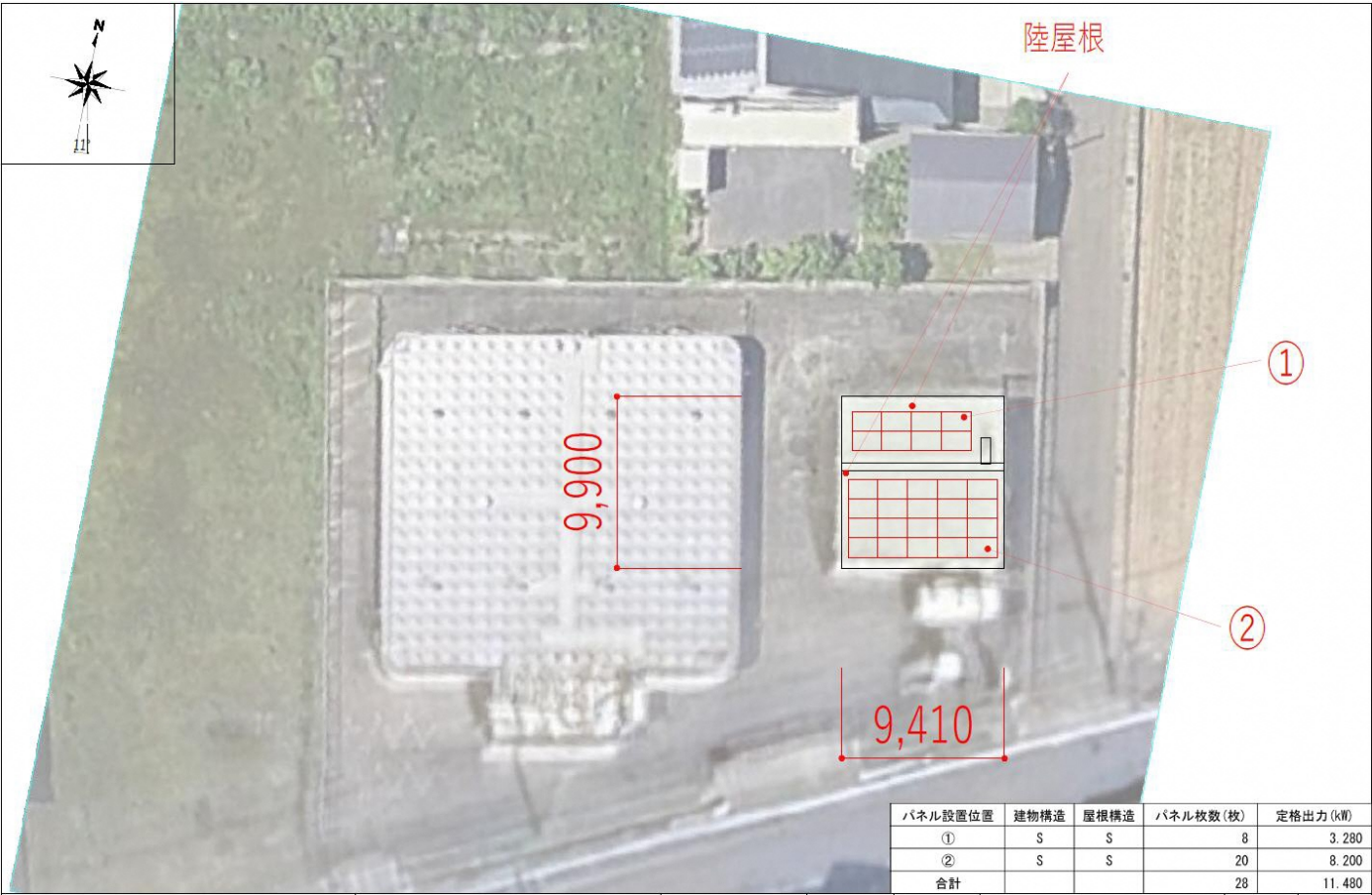
(16) 肥田浄水場

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 11.48kW であり、年間発電量 14,483kWh は本施設の電力消費量の 20%に相当する。
- 自家消費率 80%となる出力と最大設置可能量のバランス（以下最適出力という）を考慮した出力は 11.48kW であり、年間発電量は 14,483kWh、自家消費量は 14,065kWh となった。
- 設備導入により電気料金削減額は年間 43 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 5,921kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 総合的な評価結果から、本施設への太陽光発電導入の優先順位は特に高いと考えられる。
- 屋根や周辺環境の状況については問題なし。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力 (kW)	年間発電量 (kWh)	建築年	建物構造	耐震補強
集会場①	11.48	14,483	(1981 以降)	R C	不要

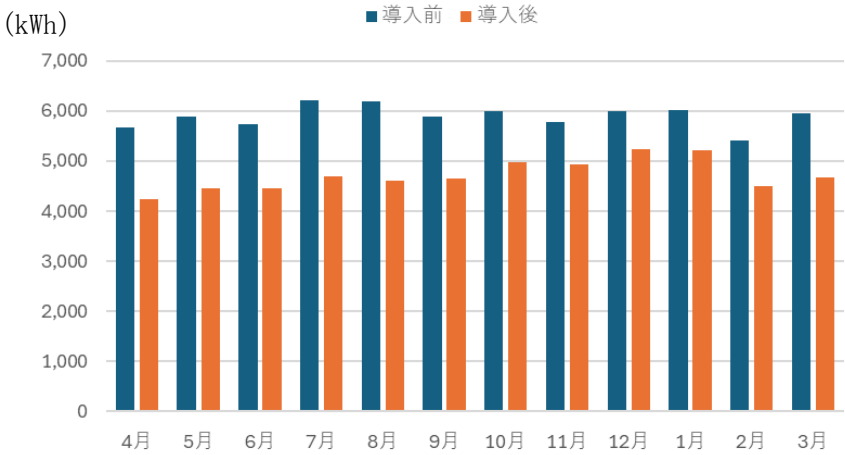
太陽光発電設置箇所



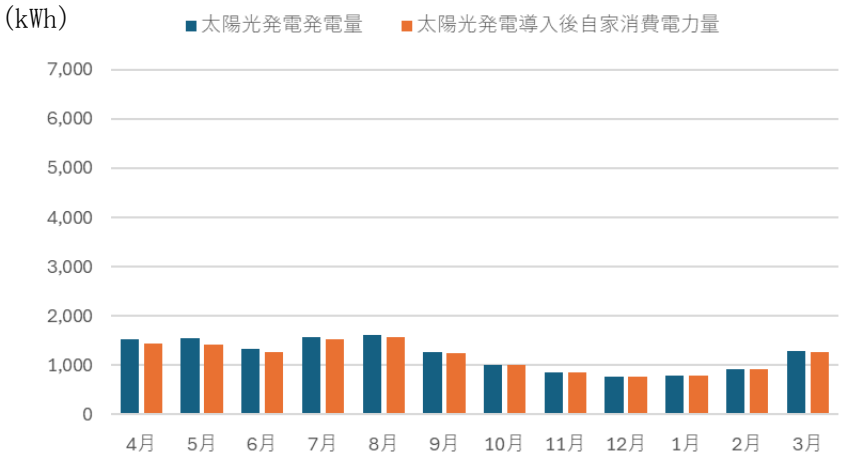
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
70,676kWh	23kW	11.48kW	14,483kWh	14,065kWh	97.1%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
2,579,990 円	2,154,786 円	425,204 円	4,600 円	5,921kg-CO <sub>2</sub>	

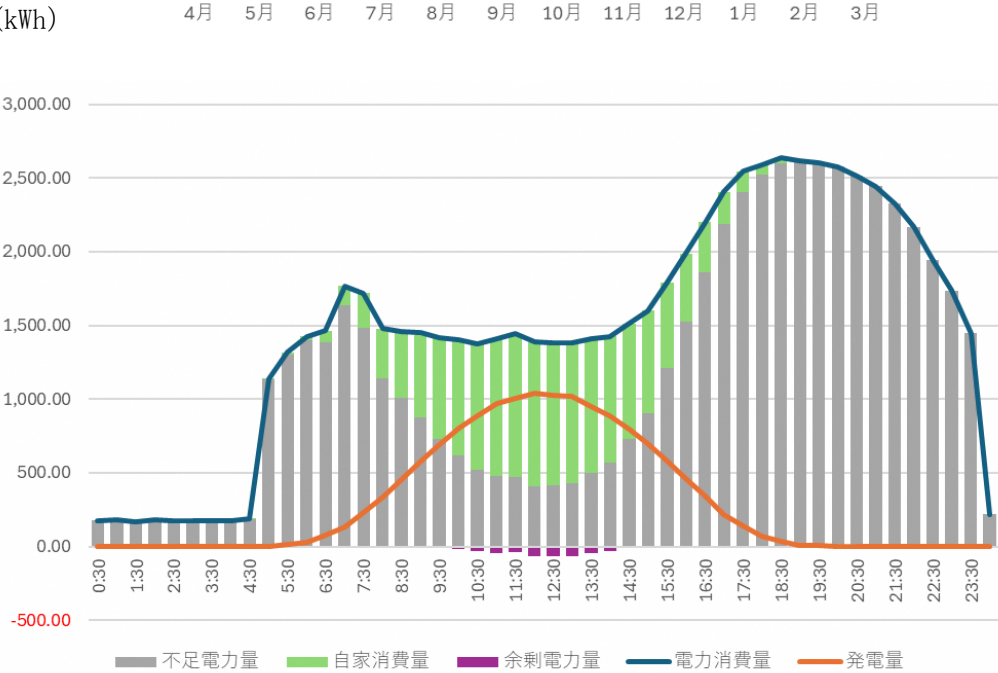
導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳 (年間)





(17) 函南町文化センターと図書館等複合施設（知恵の和館）の共同受電

- 荷重余力等が十分な箇所全てへの最大設置可能量は 215.66kW であり、年間発電量 272,081kWh は本施設の電力消費量の 57%に相当する。
- 共同受電により自家消費率は 83.40%となり、その際の発電出力は 175.07kW、年間発電量は 191,388kWh、自家消費量は 159,660kWh となった。
- 受電一体化と設備導入の合計効果として、電気料金削減額は年間 368 万円、CO<sub>2</sub>排出量削減効果は 63,545kg-CO<sub>2</sub>と算定。
- 本取組における太陽光発電導入の優先順位は特に高いと考えられる。
- 函南町文化センターの防水は良好だが、西側建屋は緩衝マットの入ったシート防水のため、施工時の防水が難しい。

《最大設置可能量》

建物名称	太陽光発電出力（kW）	年間発電量（kWh）	建築年	建物構造	耐震補強
文化センター	215.66	272,081	1986	R C	不要

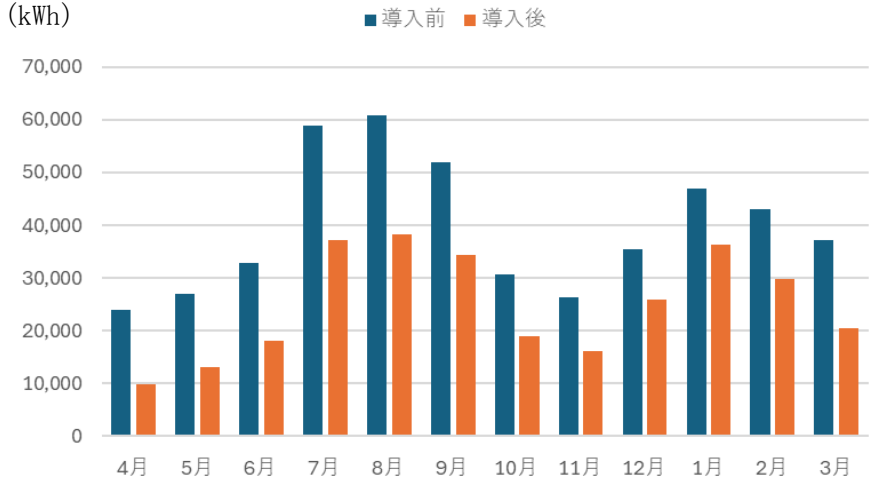
太陽光発電設置箇所



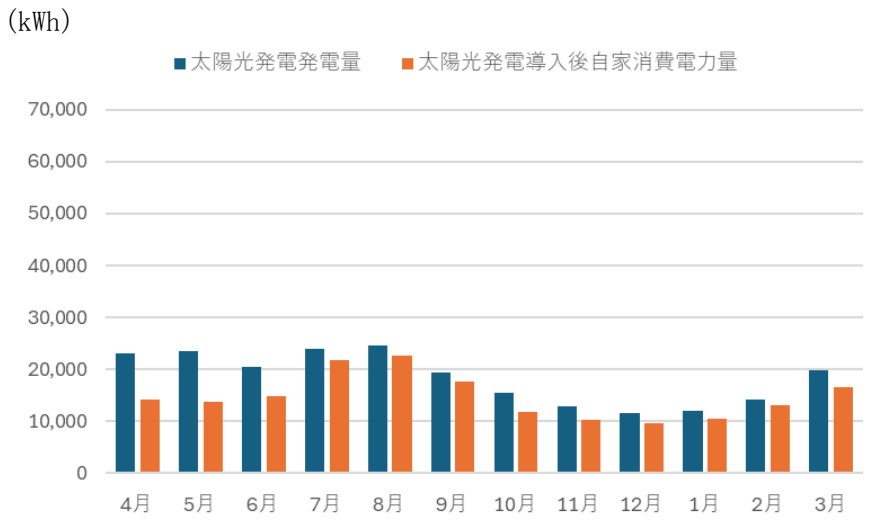
《最適出力における導入効果》

年間消費電力量	最大電力	太陽光発電容量	年間発電量	自家消費量	自家消費率
475,143kWh	415kW	151.70kW	191,388kWh	159,660kWh	83.4%
導入前電気料金	導入後電気料金	電気料金削減額	余剰電力売電額	CO <sub>2</sub> 削減量	
18,970,500 円	15,290,720 円	3,679,780 円	349,008 円	63,545kg-CO <sub>2</sub>	

導入前後の電力消費



発電量と自家消費量



電力需給内訳 (年間)

